次世代自動車地域産学官フォーラム事業

技術資料リスト

平成22年度～平成26年度

（公財）名古屋産業科学研究所　中部ＴＬＯ

次世代自動車グループ

関連参考資料のリンク

- 次世代自動車地域産学官フォーラム事業
  - http://www.nisri.jp/jisedai/index.html

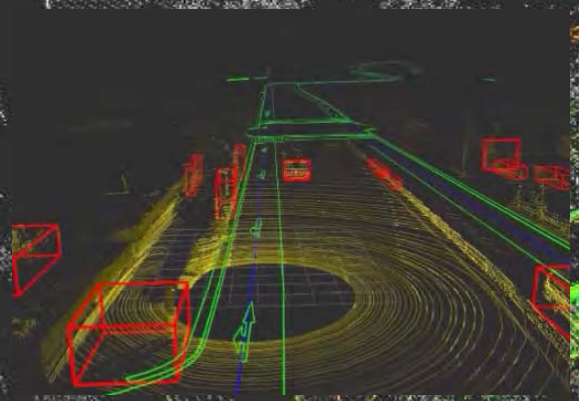
  （講演資料等）
- コア分野の技術シーズ・研究者マップ
  - http://www.nisri.jp/jisedai/map/index.html
- 炭素繊維複合材分野における技術シーズ集
  - http://www.chubu.meti.go.jp/c32automobile/141202/seeds.pdf
- 次世代自動車地域産学官フォーラム・パートナーズ
  - http://www.chubu.meti.go.jp/c32automobile/150526/index.html

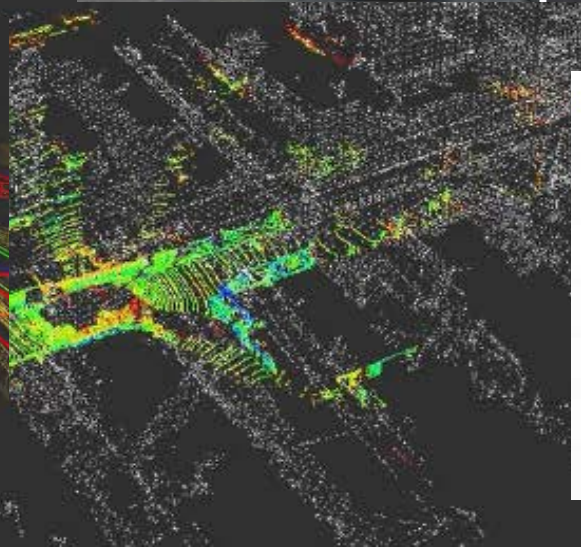
  （パートナーズの概要及び参加申し込み方法）

関連技術資料リスト

平成22年度
平成23年度
平成24年度
平成25年度
平成26年度

名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY





平成26年度

環境・エネルギー分野
ヘルスケア分野
他の成長産業分野
次世代の自動車関連技術
航空・宇宙分野
革新構造材料
IT
スマートコミュニティ・次世代住宅分野
次世代モータ
熱マネジメント
CM・PM等による
ハンズオン支援
従来の自動車関連技術

あいち ぎふ みえ
新技術・新工法
展示商談会
in Honda
開催当日は、会場⇔ホンダエンジニアリング間でシャトルバスを運行します。
［毎時 00 分及び 30 分発］
日時
2014
11/19 水 10:00～16:30
会場
株式会社本田技術研究所
四輪R&Dセンター グローバルプラザ内
栃木県芳賀郡芳賀町下高根沢 4630
GIFU
AICHI
MIE

平成２６年７月１０日
中 部 経 済 産 業 局

「あいち・ぎふ・みえ『新技術・新工法展示商談会』in HONDA」の開催について

東海産業競争力協議会で取りまとめられたTOKAI VISIONでは、ものづくり産業を支え、新たな産業を産み出す成長エンジンとなるものづくりマザー機能(※)の強化に向けて、個社の技術力を活かした新たな事業への挑戦を推進することとしています。

このため、中部経済産業局では、当地域の自動車関連企業の事業領域拡大を支援するため、東海地域の優れたものづくり技術等を本田技研工業株式会社及びその関連企業に紹介する展示商談会事業を実施します。

なお、展示商談会開催前には、次世代自動車コーディネーターによる提案内容のブラッシュアップ支援、展示の見せ方・伝え方のレベルアップのためのプレゼンテーション研修会等を開催し、自動車メーカーのニーズに即した効果的な提案となるよう支援します。

１．開催概要

（１）日　　時：平成２６年１１月１９日（水）１０：００～１６：３０（時間は予定）

（２）場　　所：株式会社本田技術研究所　四輪Ｒ＆Ｄセンター グローバルプラザ内
（栃木県芳賀郡芳賀町下高根沢４６３０）

（３）主　　催：中部経済産業局（実施機関：公益財団法人名古屋産業科学研究所）

（４）共　　催：公益財団法人あいち産業振興機構
公益財団法人岐阜県産業経済振興センター
公益財団法人三重県産業支援センター

（５）出展企業募集概要
①募集期間：平成２６年７月１０日（木）から平成２６年８月２２日（金）まで
②募集対象：東海３県内（愛知県、岐阜県、三重県）に本社、支社・支店又は工場等を置く中小企業等
③募集企業数：７０社程度（愛知県、岐阜県、三重県の合計）
④申込み方法：募集期間内に、「出展申込み書」及び「提案書」を、下記２．の所在県申込み先まで、電子メールにてご提出ください。

※その他詳細は別添の募集要領をご参照ください。

次世代自動車産業地域産学官フォーラム　　別紙（１）－①－１

炭素繊維複合材分野への参入促進セミナー（全３回）

次世代自動車産業地域産学官フォーラム（中部経済産業局）では、当地域の「自動車産業の国際競争力の維持・強化」、「ものづくり産業を支え新たな成長産業を産み出す成長エンジンとなる『ものづくりマザー機能』の強化」の２つを事業の柱として活動を展開しています。

また、去る11月12日には名古屋大学ナショナルコンポジットセンター、岐阜大学複合材料研究センター、金沢工業大学革新複合材料研究開発センターにより「コンポジットハイウェイ構想」の実現に向けた連携協定が調印され、今後、複合材料に関する研究開発から生産・加工・組立までを行う世界に冠たる一大拠点・産業集積の形成を目指すこととしております。

こうした取組の一環として、今回、繊維・機械産業が集積している北陸地域において、これから炭素繊維複合材関連事業に取り組むことを検討されている企業、及び関心を有している企業を対象に、自社の取組の可能性を検討するきっかけ作り、ヒント獲得を目的としたセミナーを開催します。

本セミナーは、平成２６年経済産業省中部経済産業局 新産業集積創出基盤構築支援事業として実施します。

●日程:［第1回］ 平成26年12月25日（木） 13時30分～17時00分
　　［第2回］ 平成27年1月9日（金）　 13時30分～17時00分
　　［第3回］ 平成27年1月14日（水）　 13時30分～17時00分

●場所:高岡市生涯学習センター（富山県高岡市末広町1番7号ウイング・ウイング高岡）
　　（別紙セミナー参加申込書の地図をご参照下さい）

●定員:30名　※原則1社あたり1名（最大2名）

●会費:無料

●対象:これから炭素繊維複合材関連事業に取り組むことを検討されている企業の方
　　※原則として全3回に参加できる方

●主催:次世代自動車産業地域産学官フォーラム（中部経済産業局、事務局:公益財団法人名古屋産業科学研究所）
　　コンポジットハイウェイコンソーシアム（名古屋大学ナショナルコンポジットセンター、岐阜大学研究推進・社会連携機構複合材料研究センター、金沢工業大学革新複合材料研究開発センター）

●内容:

第1回　＜平成26年12月25日（木） 13:30～17:00＞　～CFRPの基本的特性・今後の用途展開～

【概要】自動車の電動化が急速に進展している中、車体の軽量化は喫緊の課題となっているが、それをブレイクスルーする新たな材料として炭素繊維複合材が近年注目を集めている。自動車メーカーや素材メーカーの中には、既に炭素繊維複合材を多く用いたコンセプト・カーを製作しているところもあり、今後、自動車の様々な部品への適用が期待されているところである。また、自動車以外にも、例えば航空機や風車、住宅や橋梁のような建築物等、炭素繊維複合材の用途は今後更に拡大していく可能性がある。
第一回目の研究会では、炭素繊維複合材の基本的な特徴等を踏まえた上で、今後の用途拡大の展望等について講演を行う。

【講演】「炭素繊維とその適用用途　過去、現在、未来」	東レ株式会社　ACM技術部　主任部員　山口晃司　氏
【グループ討議】	

第2回　＜平成27年1月9日（金） 13:30～17:00＞　～CFRPの用途拡大に向けての技術的課題～

【概要】自動車を中心として、今後更なる利用拡大が期待される炭素繊維複合材。しかし、実際に自動車に適用するためには克服しなければならない様々な技術的課題が存在している。例えば、切断・切削・穿孔の精度・時間・コスト、金型やマテリアル・ハンドリングのような生産技術に関するもの、金属等他材料との接合、リサイクル等が挙げられるが、これらの技術は、従来、金属材料等を扱ってきた中部地域のものづくり中小企業が最も得意としてきた分野であり、事業展開のチャンスは十分に考えられる。
第二回目の研究会では、炭素繊維複合材の自動車部品への利用実態や、そのための技術的な課題について講演を行う。

【講演】「CFRPの用途拡大における技術的課題について」	トヨタ自動車株式会社　BR軽量化推進室　主査　河村信也　氏
【グループ討議】	

第3回　＜平成27年1月14日（水） 13:30～17:00＞　～CFRPを活用した新規事業展開～

【概要】炭素繊維複合材の可能性や将来の用途展開、技術的な課題を踏まえた上で、今後、自社が当該分野においてどのように事業展開をしていくべきか。炭素繊維複合材を巡る様々な技術的課題は、捉え方を変えると、新たなビジネスチャンスでもある。
第三回目の研究会では、実際に炭素繊維複合材分野に取り組んでいる企業から、事業展開のきっかけやポイント等の具体的事例について講演を行うとともに、炭素繊維複合材料の一大生産拠点としての発展を目指している「いしかわ炭素繊維クラスター」の取組や東海・北陸連携の取組を紹介し、産学連携の可能性について講演を行う。

【講演①】「ものづくりへの情熱で掴み取る、CFRP市場のビジネスチャンス」	株式会社UCHIDA　代表取締役社長　内田敏一　氏
【講演②】「いしかわ炭素繊維クラスターや東海・北陸連携の取組み紹介」	金沢工業大学　教授　鵜澤　潔　氏
【グループ討議】	

次世代自動車産業地域産学官フォーラム

別紙（１）－①－３

炭素繊維複合材分野への参入促進セミナー（全３回）
～炭素繊維複合材の用途拡大に向けて～

次世代自動車産業地域産学官フォーラム（中部経済産業局）では、当地域の「自動車産業の国際競争力の維持・強化」、「ものづくり産業を支え新たな成長産業を産み出す成長エンジンとなる『ものづくりマザー機能』の強化」の２つを事業の柱として活動を展開しています。

また、去る11月12日には名古屋大学ナショナルコンポジットセンター、岐阜大学複合材料研究センター、金沢工業大学革新複合材料研究開発センターにより「コンポジットハイウェイ構想」の実現に向けた連携協定が調印され、今後、複合材料に関する研究開発から生産・加工・組立までを行う世界に冠たる一大拠点・産業集積の形成を目指すこととしております。

こうした取組の一環として、今回、既に研究開発や事業に取り組まれている等、炭素繊維複合材分野に一定程度参入している企業を対象に、自動車産業等への適用・用途拡大を見据えたＣＦＲＰ製品・技術開発のための研究開発コンソーシアム形成促進を目的としたセミナーを開催します。

本セミナーは、平成２６年経済産業省中部経済産業局 新産業集積創出基盤構築支援事業として実施します。

●日程:［第1回］ 平成27年3月2日（月） 13時30分～17時00分
［第2回］ 平成27年3月5日（木） 13時30分～17時00分
［第3回］ 平成27年3月19日（木） 13時30分～17時00分

●場所:名駅モリシタビル7階 第2+3会議室 （愛知県名古屋市中村区名駅三丁目13-31 ）
（別紙セミナー参加申込書の地図をご参照下さい）

●定員:30名 ※原則1社あたり1名（最大2名）

●会費:無料

●対象:既に炭素繊維複合材分野に一定程度参入している企業の方（特に①材料関連（繊維、樹脂の他、織・編物・プリプレグ等中間基剤、添加剤等も含む。）、②設計・解析関連（部品・強度設計、CAE、検査、評価等）、③成形加工関連（成形・加工、設備、治工具、表面処理、接合等）を中心に募集します。）
※原則として全3回に参加できる方

●主催:次世代自動車産業地域産学官フォーラム（中部経済産業局、事務局:公益財団法人名古屋産業科学研究所）
コンポジットハイウェイコンソーシアム（名古屋大学ナショナルコンポジットセンター、岐阜大学研究推進・社会連携機構複合材料研究センター、金沢工業大学革新複合材料研究開発センター）

●内容:

ファシリテーター（全3回）:金沢工業大学 革新複合材料研究開発センター(ICC) 所長 鵜澤 潔 氏

第1回 ＜平成27年3月2日（月） 13:30～17:00＞	～CFRPの材料特性、分析・評価および成形加工技術～
【概要】CFRPの実部品（実車）の提案を行うためには、炭素繊維やマトリックス樹脂の特性を踏まえ、炭素繊維が持つ軽い、強いという特性に加え、振動減衰性、導電性、熱伝導性等の特性を最大限に活かすことが必要である。また、量産も見据えた成形加工方法等の検討も重要である。第一回目では、このようなCFRPが有する優れた材料特性と、出口製品に応じた量産技術等について講演を行う。	
【講演】「炭素繊維、マトリックス樹脂の種類とその特性」	三菱レイヨン株式会社 複合材料開発センター 秋山 浩一 氏
【グループ討議】	

第2回 ＜平成27年3月5日（木） 13:30～17:00＞	～CFRPの部品適用の構想・設計、試作、評価～
【概要】CFRP部品を実用化するためには、要求特性の検討、設計、製造、試作、評価等の一連の工程を素早く行い、トライアンドエラーの中で各工程の改善を図ることが必要不可欠である。また、事業として成立させるためには、少量であっても高付加価値なものを多数作り上げていくことが重要である。第二回目では、レーシングカー分野を始めとして様々な産業分野でのCFRP製品の適用事例の紹介をし、CFRP分野での事業展開に必要な基本的検討事項について講演を行う。	
【講演】 「CFRPの実部品（実車）への適用実績」	東レ・カーボンマジック株式会社 取締役副社長 奥 明栄 氏
【グループ討議】	

第3回 ＜平成27年3月19日（木） 13:30～17:00＞	～CFRPの実車適用事例～
【概要】自動車部品の実用化に当たっては、部品単品での検討と評価（強度、疲労、クリープ、耐食性等）の他、自動車全体の構造をふまえた機能要求の中で、最適な材料、成形加工方法等の検討が重要である。これはCFRPについても例外ではなく、第三回目では、こうした自動車の全体の構造・設計を検討する中で採用されたCFRP部品の事例を考察し、採用に当たっての検討課題とその対応について講演を行う。	
【講演】「自動車におけるCFRPの活用事例と検討課題、最新技術」	株式会社本田技術研究所 四輪 R＆Dセンター 漆山 雄太 氏
【グループ討議】	

次世代自動車関連技術・新事業展開セミナー

次世代の自動車における熱マネジメント技術
～車内快適・断熱・蓄熱・変換利用～

■日時　平成27年3月4日（水）　13:30～16:30

■会場　TKP名古屋栄カンファレンスセンター ホール7A

■定員　150名

■参加費　無料

■主催　次世代自動車産業地域産学官フォーラム（事務局:(公財)名古屋産業科学研究所）

（参加対象者）
自動車産業を取り巻く環境変化に挑戦を続ける地域企業. 次世代自動車に新たな ビジネスチャンスを期待する企業、研究開発のニーズ発掘、シーズ適用を狙う大学等の研究者など

次世代自動車産業地域産学官フォーラムでは、当地域の「自動車産業の国際競争力の維持・強化」、「ものづくり産業を支え新たな成長産業を産み出す成長エンジンとなる『ものづくりマザー機能』の強化」の2つを事業の柱として、技術開発・生産力の強化等を目的とした各種活動を展開しています。
今般、次世代の自動車の基幹技術である熱マネジメント技術をテーマとするセミナーを開催することにより、地域の企業あるいは研究者が新たな企画・新たな提案を行う際のヒントを得る機会にしていただきたいと思います。多くの方の参加をお待ちしています。

13:30	開会
13:30～14:20	講演①タイトル： 「快適性と省エネを向上させる自動車室内空調（仮）」 講師：片岡　拓也氏 株式会社デンソー　熱開発統括部
14:20～15:00	講演②タイトル： 「自動車内装における断熱性向上」 講師：村尾　浩二氏 トヨタ紡織株式会社　トリム開発室
15:10～15:50	講演③タイトル： 「化学蓄熱技術～自動車排熱利用への応用～」 講師：渡辺　藤雄 氏 愛知工業大学　総合研究所　客員教授
15:50～16:30	講演④タイトル： 「燃料電池／熱電変換　排ガス発電システム」 講師：内山　直樹 氏 株式会社アツミテック　開発部　基礎研究ブロック
16:30～16:40	質疑応答

■■申込方法は、裏面を参照ください■■

次世代自動車産業地域産学官フォーラム・技術開発セミナー
ＣＦＲＰの成形・加工技術に関する講演及び成形加工見学会

次世代自動車産業地域産学官フォーラムでは、当地域の「自動車産業の国際競争力の維持・強化」、「ものづくり産業を支え新たな成長産業を産み出す成長エンジンとなる『ものづくりマザー機能』の強化」の２つを事業の柱として活動を展開しています。

また、去る11月12日には名古屋大学ナショナルコンポジットセンター、岐阜大学複合材料研究センター、金沢工業大学革新複合材料研究開発センターにより「コンポジットハイウェイ構想」の実現に向けた連携協定が調印され、今後、複合材料に関する研究開発から生産・加工・組立までを行う世界に冠たる一大拠点・産業集積の形成を目指すこととしております。

本セミナーでは、こうした取組をより一層加速させるため、炭素繊維複合材分野への新たな事業進出を検討されている企業の研究者等を対象とした成形・加工技術、射出成形技術に関する講演及び実際の炭素繊維複合材の成形加工の見学会を開催します。

●日時: 平成26年12月22日（月）13時00分～16時30分

●場所:（株）名機製作所（愛知県大府市北崎町大根2）

（別紙セミナー参加申込書の地図をご参照下さい）

●定員:45名

●会費:無料

●対象:炭素繊維複合材分野への事業展開にご関心がある企業の方（今回は企業の方のみを対象としておりますので、支援機関、大学等研究機関等の方はご遠慮ください。）

●主催:次世代自動車産業地域産学官フォーラム （事務局:公益財団法人名古屋産業科学研究所）

コンポジットハイウェイコンソーシアム（名古屋大学ナショナルコンポジットセンター、岐阜大学研究推進・社会連携機構複合材料研究センター、金沢工業大学革新複合材料研究開発センター）

●内容:

◆講演　　13:00-14:50

1. 13:00-14:00 「CFRPの成形・加工技術」

名古屋工業大学 次世代自動車工学教育研究センター

センター長・教授　　中村 隆氏

2. 14:00-14:50 「熱可塑CFRPの特性と用途展開」

東レ株式会社 樹脂技術部 樹脂開発第1室長　　唐澤 啓夫氏

********** 休憩（14:50-15:00） **********

◆見学　　15:00-16:20

3. 15:00-16:20 実際の炭素繊維複合材の成形加工の見学

射出成形機、プレス成形機、新規複合成形機　　（株）名機製作所

※同業他社様は見学のみお断りしますことご了承ください。

********** ネットワーキング（16:20-16:30） **********

★参加申込方法は裏面をご参照下さい。

次世代自動車産業地域産学官フォーラム・技術開発セミナー
大電流制御技術に関する講演＆ラボツアー

次世代自動車産業地域産学官フォーラムでは、当地域の「自動車産業の国際競争力の維持・強化」、「ものづくり産業を支え新たな成長産業を産み出す成長エンジンとなる『ものづくりマザー機能』の強化」の２つを事業の柱として活動を展開しています。その一環として今回は、次世代自動車の基幹技術である次世代モータ技術を取り上げ、講演＆ラボツアーを開催致します。

フォーラム事業初の浜松地区での開催として、欧州のダウンサイジングの動向を睨んだ超高速電動ターボチャージャーの制御技術からモーターベンチ試験技術、ものづくり技術への応用まで幅広く取り上げますので、各種プロジェクト等の創成の足懸りの場として頂きたく、関心ある皆様のご参加をお待ちしております。

●日時: 平成27年2月19日（木）13時30分～16時30分

●場所：静岡大学（浜松キャンパス）電気電子棟（2号館）11講義室（2－11）

（静岡県浜松市中区城北3-5-1）

※別紙参加申込書の地図をご参照下さい。

●定員：30名（定員に達し次第、締め切ります）

●会費：無料

●対象：次世代自動車産業用等の大電流制御にご関心ある企業、大学等研究機関、産業支援機関等の方など、幅広く対象とします。

●主催：次世代自動車産業地域産学官フォーラム

（事務局：公益財団法人名古屋産業科学研究所）

●内容：

◆講演　　13:30-15:30

1．13:30-14:30　基調講演 「自動車のハイブリッド化とダウンサイジングに資する次世代モータ駆動技術」

静岡大学工学部　電気電子工学科専攻　教授　　野口　敏彦氏

2．14:30-15:00　応用事例 1.「ここまできたHEV用モーター評価システムの最新動向」

株式会社テクニカルサポート　電子事業部　主任　　大石　康博氏

3．15:00-15:30　応用事例 2.「高周波インバータの革新的ものづくりへの応用」

株式会社キャップ　代表取締役　　高井　三男氏

********** 休憩（15:30-15:40） **********

◆見学　　野口先生の研究室を3班程度に分かれ見学予定

15:40-16:20　①パワエレ実験室（1）（2号館　111室）

②パワエレ実験室（2）（2号館　112室）

③電力制御共同実験室（2号館　107室）

********** ネットワーキング（16:20-16:30） **********

★参加申込方法は裏面をご参照下さい。

次世代自動車関連技術・新事業展開セミナー
自動運転に関する講演・デモ走行見学会

■日時　平成27年３月23日（月）10:30～16:00

■会場　名古屋大学VBL棟３Ｆ　ベンチャーホール

■定員　80名　定員になり次第、受付を終了させていただきます。

■参加費　無料

■主催
・次世代自動車産業地域産学官フォーラム
（事務局：(公財)名古屋産業科学研究所）
・名古屋大学グリーンモビリティ連携研究センター

（参加対象者）
つながるクルマ、自動走行・自律運転などの技術を活用した新たな事業・ビジネスに挑戦を検討する地域の中堅・中小ものづくり企業、研究者　など

次世代自動車産業地域産学官フォーラムでは、当地域の「自動車産業の国際競争力の維持・強化」、「ものづくり産業を支え新たな成長エンジンとなる『ものづくりマザー機能』の強化」の２つを事業の柱として活動を展開しています。
近年、クルマと情報通信（IT）技術の連携・融合が急速に進む中、自動運転（自動走行）技術に注目が集まっています。次世代の自動車産業・モビリティを支えるIT分野に関して、自動運転（自動走行）技術を取り上げた講演＆デモ走行見学によるセミナーを開催致します。

10:30	開会挨拶
10:40～11:25	講演①「国際的なIT産業の構造変化と各国自動運転技術開発の動向」 講師：　インテル　戦略企画室　チーフアドバンス サービスアーキテクト 兼　ダイレクタ　野辺 継男　氏
11:25～12:10	講演②「車載用ﾋﾞｼﾞｭｱﾙ・ｺﾝﾋﾟｭｰﾃｨﾝｸﾞ・ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ最新技術」 講師：　NVIDIAジャパン、シニア・ソリューション・アーキテクト 馬路 徹　氏
	＊＊＊＊＊＊＊＊＊　休憩　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
13:10～13:55	講演③「自動運転に対応する地図技術」 講師：　アイサンテクノロジー株式会社　佐藤 直人　氏
13:55～14:40	講演④「自動運転を可能とする最新技術」 講師：名古屋大学大学院情報科学研究科　准教授　加藤 真平　氏
15:00～16:00	デモ走行見学（VBL棟近傍にて）
16:00	閉会

○本セミナーは「名古屋大学第１９回次世代自動車公開シンポジウム」との併催セミナーとなります。

■■申込方法は、裏面を参照ください■■

平成26年度経済産業省中部経済産業局 新産業集積創出基盤構築支援事業

ものづくり中小企業のための経営力強化セミナー

（全4回　連続セミナー）

第3回・第4回の参加者を募集します！

主催：次世代自動車産業地域産学官フォーラム

経済のグローバル化による新興国市場の拡大、大手メーカーの海外生産比率の上昇や部品の現地調達化の進展、技術革新やモジュール化に伴う部品点数の減少など、自動車産業を取り巻く環境は大きく変化しています。

このような状況であるからこそ、世界屈指の自動車関連産業の集積を有する当地域の企業には、自社の強みに気付き、自社のシーズやノウハウを活かして、事業領域の拡大、さらには新市場を創造する新たな商品開発を行うための意識を常にもち、行動をすることが求められています。そのためには、消費者が抱える潜在的なニーズを探索・発見し、それを満たす商品コンセプトを自らが創造し、開発をするスキルを身につけることが重要です。

本セミナーは、商品コンセプト開発に有効な「キーニーズ法」を学ぶことで、市場の潜在的なニーズを先取りした企画提案力を強化すること、また、グループワークを通した参加者間のネットワーク形成を目的として開催します。　とくに、自動車関連ものづくり中小企業・サプライヤー企業の経営者や次代の経営者（経営後継者）の方の参加をお待ちしております！

＜カリキュラム＞

回数	日程	内容
~~第1回~~ 終了しました	~~11月27日（木）~~ ~~11月28日（金）~~	~~キーニーズ法についての研修~~ ~~グループワーク（ニーズの探索～未充足ニーズの発見・創造、アイデア考案～商品コンセプトの開発）~~
~~第2回~~ 終了しました	~~12月17日（水）~~	~~グループワーク（未充足ニーズの創造、商品コンセプトの開発）~~
第3回	1月27日（火）	グループワーク（未充足ニーズの創造、商品コンセプトの開発）
第4回	2月25日（水）	グループワーク（未充足ニーズの創造、商品コンセプトの開発）

※第1回は、キーニーズ法の理論を学び、理解し、手順に慣れていただくため、2日間連続となります。毎回、9：30開始、17:30終了予定です。場所は、名古屋駅周辺の会議室を予定しています。詳細は、別途ご案内いたします。
※「第3回のみ参加」、「第4回のみ参加」といった形でも構いません（従前からの変更点）

＜定員＞　30名程度

＜会費＞　無料

＜申込み方法＞
裏面参加申込書を送付ください。申込みいただいた方には、個別に連絡いたします。各回の開催1週間前までに申込みください。定員を超えた場合は、お断りさせていただくことがあります。

講師：株式会社連由　代表取締役社長　小山 由朗 氏

昭和59年　山本光学株式会社入社
　オートバイ用品の販売を担当。スクーターヘルメットの開発では大手メーカとOEM契約を結び、生産販売するまでに成長させた。また、モトクロス用ゴーグルでは世界チャンピョンにも使用された。
平成2年　株式会社ワコール入社
　レオタード、水着の販売を担当。CW-XのMDとしてコンセプト作成から売り場の構築等全てにわたって携わる。ワコールの中で唯一メンズ（男性）からスタートして成功させた。ワコール人間科学研究所所属後、CW-Xのチームマネージャに就任。
平成18年　株式会社マ-ケティンクコンセプトハウス入社。
　企業経験を基に実践コンサルタントとして、プロ向けの商品の開発から一般向けの商品の開発までを幅広く手がける。
平成23年　株式会社連由を設立、代表取締役に就任。
　幅広く企業の商品開発を支援している

自動車メーカーによる技術動向セミナー
～トヨタ自動車株式会社～

別紙（３）－①－１

■日時　平成26年9月24日（水）13:30～16:00

■会場　ウインクあいち 小ホール１（5階）

■定員　200名

■参加費　無料

■主催　次世代自動車産業地域産学官フォーラム
（事務局：(公財)名古屋産業科学研究所）

（参加対象者）
自動車産業を取り巻く環境変化に挑戦を続ける地域の中堅・中小ものづくり企業
自動車産業に新たなビジネスチャンスを期待する中堅・中小ものづくり企業　　など

近年、自動車産業を取り巻く環境は大きく変化しています。経済のグローバル化に伴う新興国市場の拡大、大手メーカーの海外生産比率の上昇や部品の現地調達化の進展、技術革新やモジュール化に伴う部品点数の減少など。地域のサプライヤー企業がこれらの環境変化に対応するためには、自社の技術を活かし、時代のニーズ・市場の潜在的なニーズを先取りし、自らが市場に対して提案することが求められています。

今般、**トヨタ自動車株式会社**に協力をいただき、大手自動車メーカーが昨今の時代の変化及び自動車産業を取り巻く環境の変化をどのように捉え、そして、どのような対応に取り組んでいるかを紹介いただくセミナーを開催します。地域の中堅・中小企業が新たな企画・新たな提案を行う際のヒントを得る機会にしていただきたいと思います。多くの方の参加をお待ちしています。

13:30	開会
13:35～14:00	2020年に向けた自動車技術を取り巻く環境の変化（技術統括部）
14:00～14:25	トヨタのパワートレーン技術の方向性（ユニット統括部）
14:25～14:40	休憩
14:40～15:05	トヨタの安全技術の方向性（製品企画本部付きＡＺ）
15:05～15:30	トヨタの新しいクルマづくり 『Toyota New Global Architecture』（ＴＮＧＡ企画部）
15:30～16:00	質疑応答
16:00	閉会

■■申込方法は、裏面を参照ください■■

平成26年度経済産業省中部経済産業局 新産業集積創出基盤構築支援事業

自動車メーカーによる技術動向セミナー
～本田技研工業株式会社～

別紙（３）－①－３

■日時　平成26年10月16日（木）13:30～15:00

■会場　名古屋栄カンファレンスセンター ホール７Ａ

■定員　180名

■参加費　無料

■主催　次世代自動車産業地域産学官フォーラム
（事務局：(公財)名古屋産業科学研究所）

（参加対象者）
自動車産業を取り巻く環境変化に挑戦を続ける地域の中堅・中小ものづくり企業
自動車産業に新たなビジネスチャンスを期待する中堅・中小ものづくり企業　　など

近年、自動車産業を取り巻く環境は大きく変化しています。経済のグローバル化に伴う新興国市場の拡大、大手メーカーの海外生産比率の上昇や部品の現地調達化の進展、技術革新やモジュール化に伴う部品点数の減少など。地域のサプライヤー企業がこれらの環境変化に対応するためには、自社の技術を活かし、時代のニーズ・市場の潜在的なニーズを先取りし、自らが市場に対して提案することが求められています。

今般、**本田技研工業株式会社**に協力をいただき、大手自動車メーカーが昨今の時代の変化及び自動車産業を取り巻く環境の変化をどのように捉え、そして、どのような対応に取り組んでいるかを紹介いただくセミナーを開催します。地域の中堅・中小企業が新たな企画・新たな提案を行う際のヒントを得る機会にしていただきたいと思います。多くの方の参加をお待ちしています。

13:30	開会
13:35～14:35	講演タイトル： 「自由な移動の喜びと　豊かで持続可能な社会を目指して」 講師：篠原 道雄 氏 本田技研工業株式会社　環境安全企画室　室長
14:35～15:00	質疑応答
15:00	閉会

■■申込方法は、裏面を参照ください■■

平成26年度経済産業省中部経済産業局 新産業集積創出基盤構築支援事業

自動車メーカーによる技術動向セミナー
～スズキ株式会社～

別紙（３）－①－５

■日時　平成26年11月6日（木）13:30～15:00

■会場　TKP名古屋駅前カンファレンスセンター ホール５Ａ

■定員　150名

■参加費　無料

■主催　次世代自動車産業地域産学官フォーラム
（事務局：(公財)名古屋産業科学研究所）

（参加対象者）
自動車産業を取り巻く環境変化に挑戦を続ける地域の中堅・中小ものづくり企業
自動車産業に新たなビジネスチャンスを期待する中堅・中小ものづくり企業　　など

近年、自動車産業を取り巻く環境は大きく変化しています。経済のグローバル化に伴う新興国市場の拡大、大手メーカーの海外生産比率の上昇や部品の現地調達化の進展、技術革新やモジュール化に伴う部品点数の減少など。地域のサプライヤー企業がこれらの環境変化に対応するためには、自社の技術を活かし、時代のニーズ・市場の潜在的なニーズを先取りし、自らが市場に対して提案することが求められています。

今般、**スズキ株式会社**に協力をいただき、大手自動車メーカーが昨今の時代の変化及び自動車産業を取り巻く環境の変化をどのように捉え、そして、どのような対応に取り組んでいるかを紹介いただくセミナーを開催します。地域の中堅・中小企業が新たな企画・新たな提案を行う際のヒントを得る機会にしていただきたいと思います。多くの方の参加をお待ちしています。

13:30	開会
13:30～14:30	講演タイトル： 「スズキの先行技術開発の方向性」 講師：安藤 真彦 氏 スズキ株式会社 開発・ＩＴ本部　副本部長 兼 横浜研究所長
14:30～15:00	質疑応答
15:00	閉会

■■申込方法は、裏面を参照ください■■

平成26年度経済産業省中部経済産業局 新産業集積創出基盤構築支援事業

自動車部品メーカーによる技術動向セミナー
～株式会社デンソー～

別紙（３）－①－７

■日時　平成27年2月26日（木）10:00～11:30

■会場　TKP名古屋栄カンファレンスセンター ホール７B

■定員　１００名

■参加費　無料

■主催　次世代自動車産業地域産学官フォーラム
（事務局：(公財)名古屋産業科学研究所）

（参加対象者）
自動車産業を取り巻く環境変化に挑戦を続ける地域企業、新たなビジネスチャンスを期待する企業、研究開発のニーズ発掘・シーズ適用を狙う大学等の研究者など

近年の自動車産業を取り巻く環境は、経済のグローバル化に伴う新興国市場の拡大、大手メーカーの海外生産比率の上昇や部品の現地調達化の進展、技術革新やモジュール化に伴う部品点数の減少など、大きく変化しています。 地域のサプライヤー企業がこれらの環境変化に対応するためには、自社の技術を活かし、市場の潜在的なニーズを先取りし、自らが市場に対して提案することが求められています。

今般、**株式会社デンソー**に協力をいただき、大手自動車部品メーカーが昨今の時代の変化及び自動車産業を取り巻く環境の変化をどのように捉え、そして、どのような対応に取り組んでいるかを紹介いただくセミナーを開催します。地域の中堅・中小企業・研究者が新たな技術シーズの提案、研究企画を行う際のヒントを得る機会にしていただきたく、多くの方の参加をお待ちしています。

なお、聴講された企業、大学等研究者から株式会社デンソーへの提案会を3月中下旬に開催することを計画中です。詳細はセミナー時にご案内致します。

9:30	開場
10:00～11:30 （質疑応答含む）	講演タイトル：㈱デンソーの先行技術開発の方向性 講師：小野田　邦広氏 株式会社デンソー　技術企画部 部長
11:30	閉会

■■申込方法は、裏面を参照ください■■

平成26年度経済産業省中部経済産業局 新産業集積創出基盤構築支援事業

平成25年度

みえ・あいち・ぎふ
新技術
新工法
展示商談会
GIFU
AICHI
MIE
日時
2013
12/5 木 11:00 ~17:00
12/6 金 10:00 ~15:00
会場
マツダ株式会社 本社1号館3階 講堂
広島県安芸郡府中町新地3-1
主催
公益財団法人 三重県産業支援センター、公益財団法人 あいち産業振興機構、公益財団法人 岐阜県産業経済振興センター
公益財団法人 名古屋産業科学研究所

次世代自動車地域産学官フォーラム・技術開発セミナー
―自動車部品の軽量化に貢献する―
ＣＦＲＴＰの加工技術に関する講演および成形機見学

（公財）名古屋産業科学研究所では、次世代自動車地域産学官フォーラム事業の一環として、次世代自動車に関連する各種分野の技術開発セミナーを開催しています。

今回のセミナーでは、自動車軽量化素材として期待が高まっている熱可塑性炭素繊維複合材料（Carbon fiber Reinforced ThermoPlastic：ＣＦＲＴＰ）に焦点を当て、ハイサイクル成形技術および新規複合成形技術に関する講演と、成形機の見学会を開催します。

本事業は経済産業省補助事業（平成25年度成長産業・企業立地促進等事業費補助金（成長産業振興・発展対策支援事業））として実施します。

●日時: 平成26年2月21日（金）13時00分～16時30分

●場所:（株）名機製作所（愛知県大府市北崎町大根2）

（別紙セミナー参加申込書の地図をご参照下さい）

●主催:次世代自動車地域産学官フォーラム

（事務局:公益財団法人名古屋産業科学研究所）

●協賛:（一社）中部産業連盟（予定）、名古屋大学NCC次世代複合材研究会

●内容:

◆挨拶　13:00-13:05

◆講演　13:05-14:50

1. 13:05-14:00 「連続繊維強化CFRTPのハイサイクル成形技術 」
岐阜大学　工学部　機械工学科　教授　仲井　朝美氏

2. 14:00-14:50 「新規複合成形機によるCFRTP成形技術」
名古屋大学　ナショナルコンポジットセンター　長岡　猛氏

********** 休憩（14:00-15:00） **********

◆見学　15:00-16:20

3. 15:00-16:20 成形機の見学とデモ
射出成形機、プレス成形機、新規複合成形機　（株）名機製作所
※同業他社様は見学のみお断りしますことご了承ください。

********** ネットワーキング（16:20-16:30） **********

★参加申込方法は裏面をご参照下さい。

次世代自動車地域産学官フォーラム・技術開発セミナー
―次世代自動車における熱マネジメント技術の最前線―

近年、自動車の動力源が化石燃料からハイブリッドや電気に置き換わってきたことにより、自動車の熱マネジメント技術のニーズが高まってきている。従来の自動車では内燃機関から生じる排熱を暖房・暖気等に有効活用できたが、最近のハイブリッド車や電気を動力源とする自動車ではこのような排熱が少なく、エンジンの始動、あるいは電気により暖房・暖気を行わなければならないため、結果的に燃費や航続距離が低下することとなる。このような課題を解決するため、次世代自動車の開発に際して熱の有効活用、蓄熱・断熱・遮熱・熱輸送等の熱マネジメント技術が必要とされている。本セミナーでは、自動車の熱マネジメントを巡る最新の適用事例や将来展望、研究開発動向等を紹介する。

本事業は経済産業省の平成25年度地域新成長産業創出促進事業費補助金事業（地域新産業戦略推進事業（地域新産業集積戦略推進事業））として実施します。

●日時: 平成26年3月27日（木）13時30分～17時　開場13時00分
●場所:オフィスパーク菱信ビル　306B+C会議室（名古屋市中村区名駅4丁目）
（別紙セミナー参加申込書の案内図をご参照下さい）
●定員:100名（参加費無料。先着申込順で受付。定員到達次第締め切らせて頂きます）
●主催:次世代自動車地域産学官フォーラム
（事務局:公益財団法人名古屋産業科学研究所）
●共催:名古屋大学グリーンモビリティ連携研究センター
株式会社十六銀行
●後援:経済産業省中部経済産業局（予定）

開会
13:30

1. 13:35～14:15　講演①「未利用熱の活用技術開発の動向－経済産業省のプロジェクトと産総研の取り組み」
独立行政法人産業技術総合研究所　エネルギー技術研究部門　副研究部門長　小原　春彦　氏

未利用熱の有効活用技術は次世代自動車分野のみならず、排熱の多い工場等の産業分野、次世代住宅・ビル等の民生分野においてもその活用が期待されている。本講演では、これらの分野における革新的な未利用熱の削減・回収・利用技術を確立することを目的とした経済産業省の未利用熱エネルギー革新的活用技術研究開発プロジェクトの概要と産業技術総合研究所の取組について紹介する。

********** 休憩（14:15～14:25） **********

2. 14:25～15:25　講演②「自動車の熱管理技術と課題」
トヨタ自動車株式会社　性能実験部　熱流体開発　担当部長　松野　孝充　氏

近年、市場に投入されているハイブリッド自動車などにおいて、さらなる燃費向上に伴い発生する課題とそれに対応するための熱マネジメント技術にはどのようなものがあるか。快適性の向上と燃費向上を両立させるべく、断熱・遮熱材料の採用や部品設計に至るまで、様々な工夫が取り入れられている。本講演では、自動車メーカーから見た、近年の自動車における熱マネジメント技術の適用事例と技術的課題等について紹介する。

3. 15:25～16:25　講演③「次世代自動車の熱マネジメントに関する課題と研究開発動向」
株式会社豊田中央研究所　取締役　大久保　陽一郎　氏

次世代自動車の熱マネジメントに係る諸課題は近年の自動車の高効率化あるいは電動化の流れの中で顕在化してきたが、豊田中央研究所ではこれらの課題に対応すべく、要素とシステムの両面で研究を行ってきた。本講演では、当所のこれまでの取組を踏まえ、熱マネジメント分野におけるトピック的な個別技術の研究開発動向について紹介する。

********** 質疑応答 （16:25～16:40） **********

閉会
16:40

★参加申込方法は裏面をご参照下さい。

次世代自動車地域産学官フォーラム・技術開発セミナー
―自動車部品の軽量化に貢献する―
アルミニウム鍛造技術 シンポジウム

（公財）名古屋産業科学研究所では、次世代自動車地域産学官フォーラム事業の一環として、次世代自動車に関連する各種分野の技術開発セミナーを開催します。今回のセミナーでは自動車部品の軽量化に貢献する材料プロセス技術として、アルミニウム鍛造技術の基礎から活用事例までをご紹介いたします。

本事業は経済産業省補助事業（平成25年度成長産業・企業立地促進等事業費補助金（成長産業振興・発展対策支援事業））として実施します。

●日時: 平成25年10月30日（水）13時30分～17時　開場12時30分
●場所:名古屋大学ES総合館ESホール（名古屋市千種区不老町）
　　地下鉄名城線名古屋大学駅2番出口
　　（別紙セミナー参加申込書の地図をご参照下さい）
●定員:150名（参加費無料。先着申込順で受付。定員到達次第締め切らせて頂きます）
●主催:次世代自動車地域産学官フォーラム
　（事務局:公益財団法人名古屋産業科学研究所）
●協賛:名古屋大学グリーンモビリティ連携研究センター
　　名古屋大学大学院工学研究科附属材料バックキャストテクノロジー研究センター
　　（一社）日本塑性加工学会東海支部
　　（一社）軽金属学会東海支部
　　㈱十六銀行
●後援:経済産業省中部経済産業局（予定）

［挨拶］
　13:30-13:35　経済産業省中部経済産業局（予定）

［司会］名古屋大学大学院工学研究科　教授　石川　孝司氏

1．13:35-14:20　基調講演「トヨタの鍛造分野の取組みと、自動車部品の軽量化 」
トヨタ自動車（株）　鍛圧・表改生技部　　太田　昌貴氏
昨今、自動車にとって燃費や環境は一層重要性を増しており、軽量化はそのための重要な課題である。一方で、その技術をグローバルに安価で展開できることも必須の要件である。今回はこれらに対する、鍛造分野での生産技術の取組みについて述べる。

2．14:20-15:00　講演「鍛造用アルミニウム合金と鍛造技術」
（株）神戸製鋼所　大安工場 鋳鍛研究室　　阪本　正悟氏
自動車部品、特にサスペンション部品の軽量化に貢献するため、アルミニウム鍛造品の高強度化を図ってきた。合金成分のみならず、全ての製造条件において最適組織を得るべく改善を実施した事例を紹介する。

**********　休憩（15:00-15:10）　**********

3．15:10-15:40　講演「アルミニウム合金の鋳造鍛造技術 」
日軽エムシーアルミ（株）　　北岡　山治氏
あらゆる形状に簡単に対応できる鋳造と、鍛造による材料特性の向上を組み合わせた鋳造鍛造技術は古くから研究・開発されてきたが、近年，実用化がかなり広範囲に進められてきた。ここでは、本技術の基礎と今後の展開について考えてみる。

4．15:40-16:10　事例①:「自動車用高強度アルミ熱間鍛造技術」
埼玉プレス鍛造（株）　技術開発部　　藁科　永充氏
自動車用高強度アルミ鍛造品を造るまでのプロセスコントロールについてと、採用事例について紹介する。例えば、鍛造流動解析や、高強度を維持するための金型保証技術のポイントや、今後の取り組みを説明する。

5．16:10-16:40　事例②:「アルミニウム合金冷間鍛造品の鍛造設計の着眼点と事例紹介 」
群馬精工（株）　　専務取締役　　丸茂　康二氏
持てる技術とアイデアをもって部品の要求品質に近い鍛造設計を行う事は大変重要である。ここでは、当社における鍛造設計の着眼点に触れながら、いくつかのアルミ冷鍛事例を紹介する。

**********　ネットワーキング（16:40-17:00）　**********

★参加申込方法は裏面をご参照下さい。

平成２５年７月１６日
中 部 経 済 産 業 局

「みえ・あいち・ぎふ『新技術・新工法展示商談会』in マツダ」の開催について

中部経済産業局では、クルマの電動化・ＩＴ化の進展に対応し、地域一丸となって次世代自動車クラスター形成を推進する場として、「次世代自動車地域産学官フォーラム」を設け、各種活動に取り組んでいます。
今般、本フォーラムでは、次世代モビリティ等の新たな事業創出を図るため、中部地域の中小企業の優れた技術をマツダ株式会社及びその関連企業に紹介する展示商談会事業を実施することとし、出展企業を募集します。
なお、今年度は展示商談会開催前にマツダ株式会社による技術ニーズ説明会及び主催者によるプレゼンテーション研修会を開催し、出展企業の商談獲得を支援します。

１．開催概要

（１）日　　時：平成２５年１２月５日（木）１１：００～１７：００（予定）
〃　　６日（金）１０：００～１５：００（予定）

（２）場　　所：マツダ株式会社広島本社１号館３階
（広島県安芸郡府中町新地３－１）

（３）主　　催：公益財団法人三重県産業支援センター
公益財団法人あいち産業振興機構
公益財団法人岐阜県産業経済振興センター
公益財団法人名古屋産業科学研究所

※本事業は、次世代自動車地域産学官フォーラム構成員である（公財）三重県産業支援センター、（公財）あいち産業振興機構、（公財）岐阜県産業経済振興センター、（公財）名古屋産業科学研究所が、次世代自動車地域産学官フォーラム事業の一環として、経済産業省の「平成２５年度地域企業立地促進等事業（成長産業振興・発展対策支援事業）」を活用して実施するものです。

（４）出展企業募集概要

①募集期間：平成２５年７月１７日（水）から平成２５年９月６日（金）まで
②募集対象：東海３県内（三重県、愛知県、岐阜県）に本社、支社・支店又は工場等を置く中小企業等
③募集企業数：６０社程度（三重県、愛知県、岐阜県の合計）
④申込方法：募集期間内に、「出展申込書」及び「提案書」を、下記２．の所在県支援機関まで、電子メール等にてご提出ください。
※その他詳細は別添の募集要領をご参照ください。

２．問い合わせ・申込先

（１）三重県の企業の方

公益財団法人三重県産業支援センター

ものづくり支援課　経営戦略支援グループ　太田、丸橋、中津

ＴＥＬ　０５９－２２８－７２８３　ＦＡＸ　０５９－２２８－３８００

ＵＲＬ　http://www.miesc.or.jp/

Ｅ-ｍａｉｌ　tenjikai@miesc.or.jp

（２）愛知県の企業の方

公益財団法人あいち産業振興機構

経営支援部　取引振興グループ　山口、村里

ＴＥＬ　０５２－７１５－３０６８　ＦＡＸ　０５２－５６３－１４３６

ＵＲＬ　http://www.aibsc.jp/tabid/410/Default.aspx

Ｅ-ｍａｉｌ　mazda@aibsc.jp

（３）岐阜県の企業の方

公益財団法人岐阜県産業経済振興センター

経営支援部　取引課　取引担当　小椋、西原

ＴＥＬ　０５８－２７７－１０９２　ＦＡＸ　０５８－２７３－５９６１

ＵＲＬ　http://www.gpc-gifu.or.jp/

Ｅ-mail　torihiki@gpc-gifu.or.jp

【参考】昨年度の開催実績

ぎふ・あいち・みえ『新技術・新工法展示商談会』ｉｎ日産自動車

開　催　日：平成２５年２月１４日（木）、１５日（金）

場　　所：日産自動車株式会社　テクニカルセンター

（神奈川県厚木市岡津古久５６０－２）

出展企業数：１２７社

（お問い合わせ先）

中部経済産業局　次世代産業課　次世代自動車室長　柳原

電話：０５２－９５１－０５７０（直通）

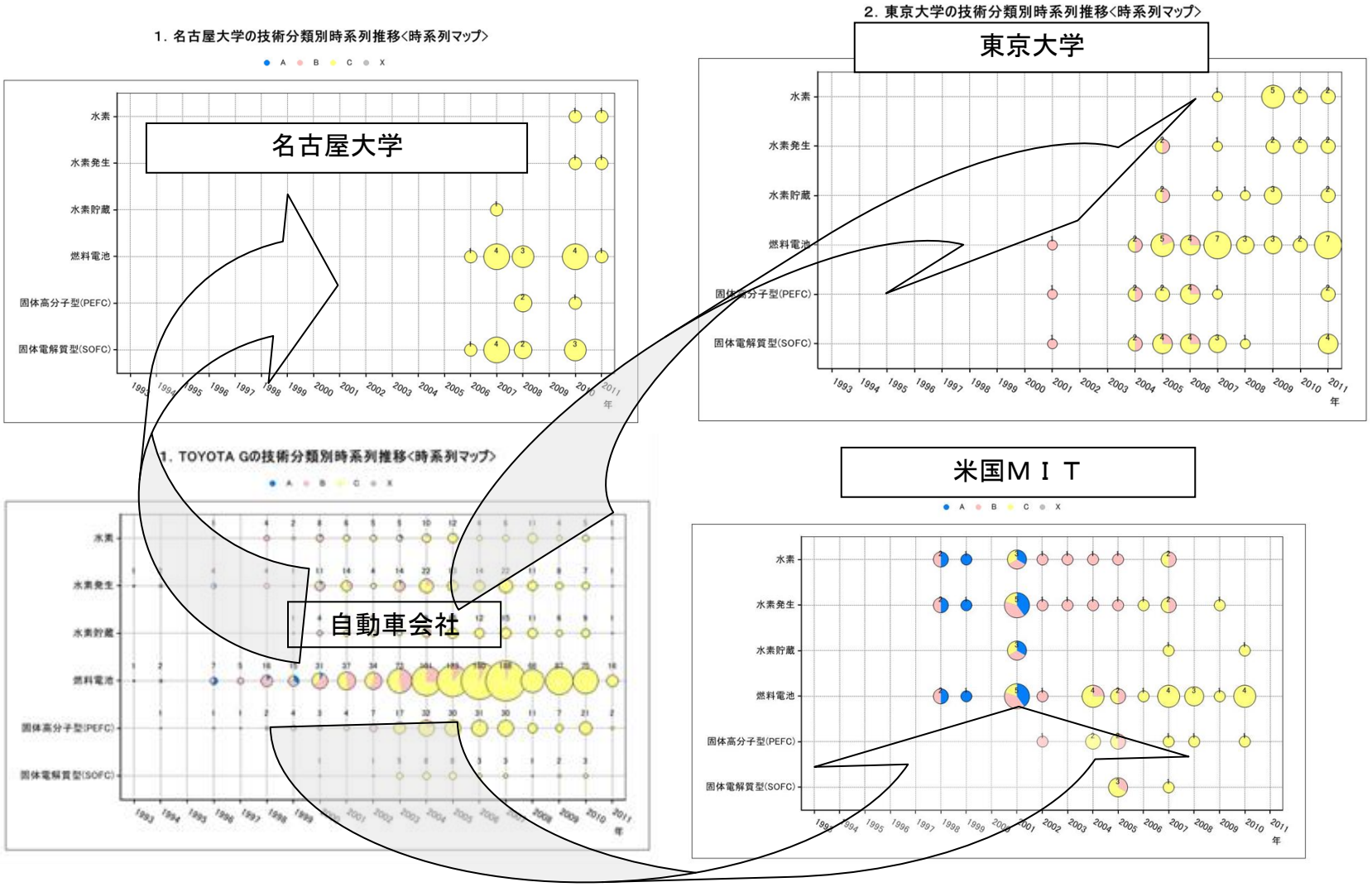
パテントマップ解析結果

燃料電池に関する
大学・自動車会社の出願動向(US＆JP)

◇燃料電池関連発明　時系列マップ◇	
企業	研究機関
トヨタ自動車	大学 a MIT
本田技研工業	大学 b　東京大学
General Motors	大学 c　東北大学
CHRYSLER Gr.	大学 d　名古屋大学
FORD Gr.	
フォルクスワーゲン	
DAIMLER Gr.	
BMW	

技術分類
1．水素
2．水素発生
3．水素貯蔵
4．燃料電池
5．固体高分子型（PEFC）
6．固体電解質型（SOFC）

燃料電池技術関連発明に対する
自動車会社と日米大学の時系列対応比較



平成２５年９月５日

報道各位

公益財団法人　名古屋産業科学研究所
株式会社十六銀行

公益財団法人　名古屋産業科学研究所と
株式会社十六銀行との産学連携に関する包括協定締結について

公益財団法人　名古屋産業科学研究所（理事長 内藤進、住所：名古屋市中区栄２丁目10-19）と株式会社十六銀行（頭取 堀江博海、住所：岐阜市神田町８ 丁目26）は、次世代自動車に関する産学連携活動を実施することに合意し、本日「産学連携に関する協定書」を締結いたしましたのでお知らせします。

両者においては、今回の包括協定を契機に、次世代自動車分野を中心として一層の連携を図り、名古屋産業科学研究所の持つ大学、企業との密なネットワークや技術コーディネート機能と、十六銀行の取引先企業等のニーズを結びつけ、次世代自動車産業の活性化と産業振興を推進してまいります。

記

１．締結日

平成 25 年 9 月 5 日（木）

２．協定の主な内容

（１）次世代自動車に関する技術相談、および企業の課題解決の推進

次世代自動車に関し、十六銀行の取引先等が抱える課題やニーズに対して、名古屋産業科学研究所の持つ大学、企業との密なネットワークや技術コーディネート機能と結びつけることで、産業の振興につなげる。

（２）地域貢献のための活動

次世代自動車に関し、次世代自動車地域産学官フォーラムのセミナー等を共同で企画・開催し、十六銀行のネットワークを通じて告知することにより、地域のものづくり企業に対して有意義な情報提供を行う。

３．今後の連携活動

第 1 回目の連携事業として、10 月にセミナーの開催を予定しております（詳細は後日、決まり次第お知らせします)。

４．両者のこれまでの取組み内容

（１）名古屋産業科学研究所

昭和１８年に産業の基盤となる科学技術に関する研究を実施する機関として設立され、平成１２年には名古屋大学を始め、各大学の知的資源を民間に橋渡しする「中部ＴＬＯ」事業を開始。加えて、近年は次世代自動車クラスター形成を地域一丸となって推進する活動である「次世代自動車地域産学官フォーラム」の実施機関の一つとして、産学連携による当地域の技術開発力の強化に取り組んでいます。

（２）十六銀行

法人営業部に業種特化型の営業部隊「マーケット戦略チーム」を設置、製造業には２名の専門担当者を置き、中部経済産業局の掲げる「八ヶ岳構造構想創出戦略」に沿って、航空機、医療機器・福祉用具といった成長産業への参入支援や、逆見本市形式の商談会を開いてまいりました。また、「岐阜と愛知をつなぐ銀行」として産学連携活動を重視し、これまでも各大学や公的機関等と連携した技術相談やイベント・セミナー開催などを行っています。

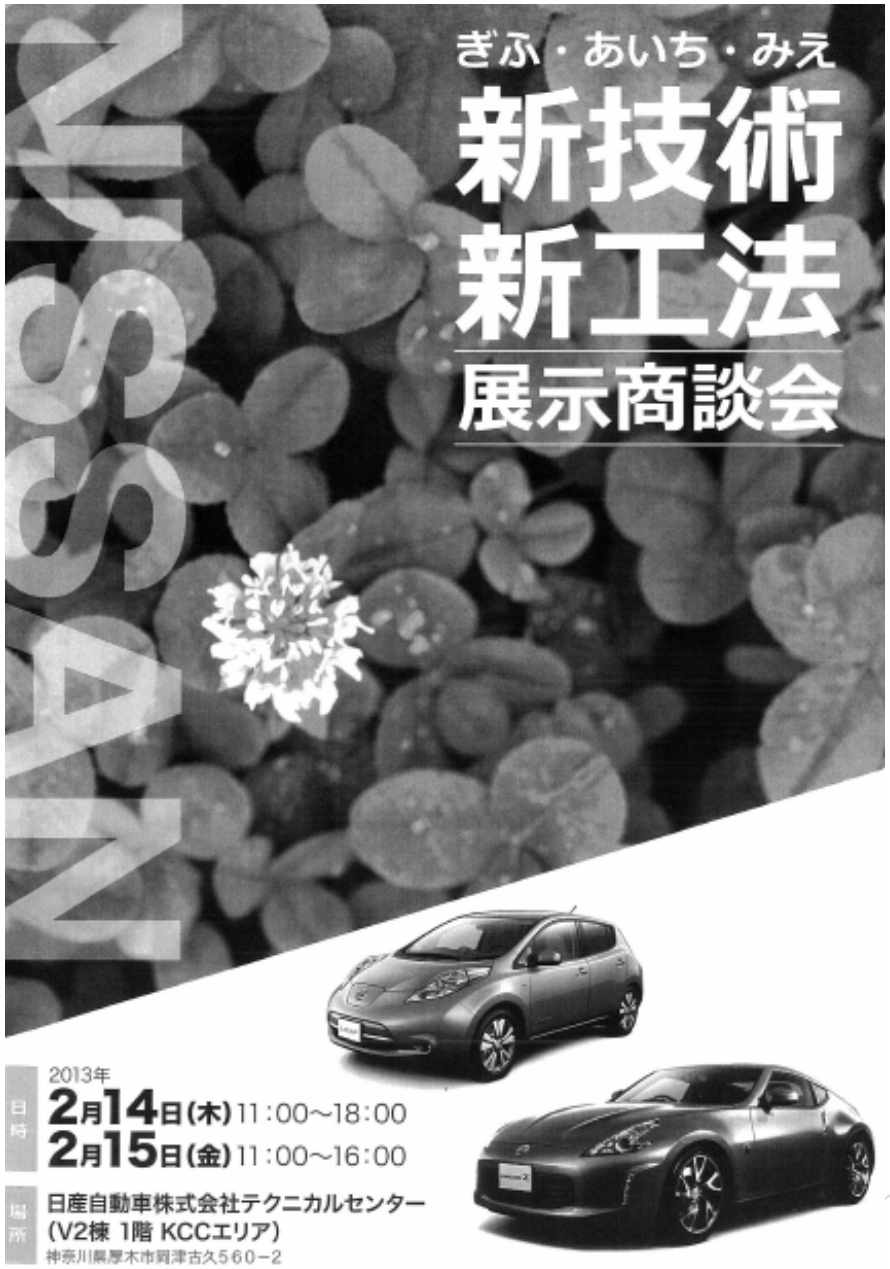
以 上

＜本件ご照会先＞

名古屋産業科学研究所　中部 TLO 事業部　TEL：052-783-1255

十六銀行 経営企画部　ブランド戦略室　　TEL：058-266-2512

平成24年度


NISSAN
ぎふ・あいち・みえ
新技術
新工法
展示商談会
日時
2013年
2月14日(木)11:00〜18:00
2月15日(金)11:00〜16:00
場所
日産自動車株式会社テクニカルセンター
(V2棟 1階 KCCエリア)
神奈川県厚木市岡津古久560−2

名古屋大学大学院情報科学研究科
附属組込みシステム研究センター
Center for Embedded Computing Systems, Nagoya Univ.

名古屋大学
グリーンモビリティ連携研究センター
Green Mobility Collaborative Research Center, Nagoya University.

平成 24 年 8 月吉日

関係者各位

名古屋大学大学院情報科学研究科 附属組込みシステム研究センター
名古屋大学グリーンモビリティ連携研究センター

第 3 回 NCES シンポジウム／第 6 回次世代自動車公開シンポジウムのご案内

晩夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝の程、お慶び申し上げます。

名古屋大学では、2006 年 4 月に組込みシステム研究センター(NCES)を開設し産学連携を基本として組込みシステム技術に関する「実用化指向の基礎研究」と「プロトタイプ・ソフトウェア開発」と「人材育成」の 3 領域で実績を積んできました。さらに、2011 年 7 月にグリーンモビリティ連携研究センター(GREMO) を設立し、産学官連携及び国際連携のもと、環境への負担が少なく、安全かつ安心な交通手段及びシステムに関する研究開発の促進と研究者の人材育成を進めています。

今回は、NCES と GREMO が共同で、組込みシステム技術とグリーンモビリティの ITS・社会システム技術をテーマとしてシンポジウムを開催いたします。この場が新たな産学連携の芽を生みだす場となることを願っております。多数の皆様にご来場いただき、成果の共有、情報収集、交流の場としていただければ幸いです。

記

1．日時　平成 24 年 10 月 9 日（火）13:00～17:45（情報交換会：18:00～20:00）
10 月 10 日（水）10:00～18:00（受付開始　9 日：12:30～、10 日：9:30～）

2．場所　名古屋大学　東山キャンパス　ES 総合館 1 階 ES ホール

3．主催　名古屋大学大学院情報科学研究科　附属組込みシステム研究センター
名古屋大学 グリーンモビリティ連携研究センター

4．共催　名古屋大学エコトピア科学研究所、公益財団法人名古屋産業科学研究所、公益財団法人科学技術交流財団、次世代自動車地域産学官フォーラム

5．協賛　公益社団法人自動車技術会（予定）、一般社団法人電気学会（予定）

6．後援　愛知県（予定）、経済産業省中部経済産業局（予定）、一般社団法人中部産業連盟、NPO 法人 TOPPERS プロジェクト

7．講演　定員 200 名　先着申込み順　参加無料（情報交流会参加費：3,000 円）

8．次第

【第 1 日目（10 月 9 日火曜日）】

《オープニング》

13:00-13:05　開会挨拶
グリーンモビリティ連携研究センター長　教授　小野木克明

13:05-13:15　来賓挨拶
経済産業省中部経済産業局

《招待講演 1》

13:15-14:15　「H-IIA/B ロケットの搭載電子装置とリアルタイム OS TOPPERS/HRP の応用について」
宇宙航空研究開発機構(JAXA)　宇宙輸送ミッション本部
宇宙輸送系要素技術研究開発センターセンター長　泉達司

<休憩 15 分>

《セッション 1　組込みシステム研究センター（1)》

14:30-15:00　「NCES における社会人組み込み技術者養成の枠組みと実績」
附属組込みシステム研究センター　特任准教授　山本雅基

15:00-15:30　「AUTOSAR OS 仕様をベースとした次世代車載システム向け RTOS 開発」
附属組込みシステム研究センター　研究員　鴫原一人

15:30-16:00　「Cloudia:Car-to-X データ統合プラットフォーム
～安全運転支援のための分散ストリーム処理の実現～」
同志社大学　教授／附属組込みシステム研究センター　特任教授　佐藤健哉

<休憩 15 分>

《セッション 2　グリーンモビリティ連携研究センター（1)》

16:15-16:45　「炭素系複合材料の自動車への活用を目指して
～ナショナル・コンポジットセンター設立に向けて」
グリーンモビリティ連携研究センター　特任教授　辻信一

16:45-17:15　「マルチ・メニーコアプロセッサを用いた車載制御システムの実現に向けて」
名古屋大学大学院情報科学研究科　教授　枝廣正人

17:15-17:45　「渋滞形成実験と自己駆動粒子系の相転移現象」
名古屋大学情報文化学部　教授　杉山雄規

<休憩 15 分>

《情報交流会》

18:00-20:00　情報交換会（ES 総合館 1 階会議室・有料）

【第 2 日目（10 月 10 日水曜日)】

《オープニング》

9:55-10:00　開会挨拶
附属組込みシステム研究センター長　教授　高田広章

《招待講演 2》

10:00-11:00　「都市交通システムと情報センター」
トヨタ自動車株式会社　IT・ITS 企画部企画室　主幹　笠井真一

《セッション 3　組込みシステム研究センター（2)》

11:00-11:45　「NCES の活動成果と今後」
附属組込みシステム研究センター長　教授　高田広章

<休憩 60 分>

《セッション 4　グリーンモビリティ連携研究センター（2)》

12:45-13:30　「ITS・次世代型モビリティを活用した街づくり」
グリーンモビリティ連携研究センター　教授　森川高行

13:30-14:15　「次世代型モビリティ導入に伴う課題」
グリーンモビリティ連携研究センター　教授　山本俊行

<休憩 15 分>

《セッション 5　組込みシステム研究センター（3)》

14:30-15:00　「NCES における組込みシステム向けソフトウェアプラットフォームの開発」
附属組込みシステム研究センター　准教授　本田晋也

15:00-15:20　「宇宙機向けソフトウェアプラットフォーム（SpaceWire OS）の開発」
附属組込みシステム研究センター　研究員　高田光隆

15:20-15:40　「機能安全に関する NCES の取組み」
附属組込みシステム研究センター　特任助教　松原豊

15:40-16:00　「次世代車載 LAN プロトコル開発（スケーラブル CAN)」
附属組込みシステム研究センター　研究員　倉地亮

<休憩 15 分>

《セッション 6　グリーンモビリティ連携研究センター（3)》

16:15-17:00　「データセントリックな自動車技術（自動車の個性化に向けて)」
グリーンモビリティ連携研究センター　教授　武田一哉

17:00-17:45　「大規模データに基づく位置情報と行動情報の利活用」
グリーンモビリティ連携研究センター　教授　河口信夫

《エンディング》

17:45-18:00　閉会挨拶
名古屋大学大学院情報科学研究科　研究科長　教授　大西昇

※両日とも（9 日，10 日）研究成果に関するポスター展示を行います

9．申込み方法

下記よりお申し込みください。
https://www.nces.is.nagoya-u.ac.jp/regist/sympo2012.php

※座席の都合上，必ず上記サイトより事前にお申し込み下さい.
※定員（講演：200 名，交流会：100 名）になり次第締め切ります。
※申込〆切日（10 月 3 日（水)）以降のお申し込みは，直接当日受付までお越し下さい。
※申込後にキャンセルされる場合（情報交換会含む）は，その旨，
事務局まで必ずご連絡お願い致します。

１０．　お問い合わせ先

■名古屋大学 大学院情報科学研究科 附属組込みシステム研究センター　シンポジウム事務局
TEL: 052-789-5186　FAX: 052-789-4237　E-Mail：nces-office@nces.is.nagoya-u.ac.jp
URL：http://www.nces.is.nagoya-u.ac.jp

■名古屋大学 グリーンモビリティ連携研究センター　事務局
TEL：052-747-6722　E-Mail：info@gvm.nagoya-u.ac.jp
URL：http://www.gvm.nagoya-u.ac.jp/

以上

次世代自動車地域産学官フォーラム・技術開発セミナー

次世代自動車地域産学官フォーラムでは、第２回次世代ものづくり基盤技術産業展 TECH BIZ EXPO2012（平成 24 年 11 月 28 日～30 日開催）における、「次世代モビリティ国際フォーラム」の情報発信事業として、技術開発セミナーを開催いたします。

今回は、次世代自動車の主要技術分野における産学連携プロジェクト形成を目指し、次世代自動車のパワートレーンの核となる電池・モータ技術、車体の重要課題である軽量化技術について、当地域の大学・研究機関の最新の研究動向及び産学共同研究に取り組む企業のプロジェクト紹介を実施します。

〇日時：平成２４年１１月２９日（木）１３：００～１６：３０
〇場所：ポートメッセなごや（名古屋国際展示場）TECH BIZ EXPO2012 セミナー会場
http://www.techbizexpo.com/access/index.html
〇タイトル：次世代自動車地域産学官フォーラム　技術開発セミナー
～超軽量化技術領域、モータ技術領域、電池技術領域～
〇主催：次世代自動車プロジェクト化研究会（超軽量化技術領域、モータ技術領域、電池技術領域）、公益財団法人名古屋産業科学研究所
〇共催：名古屋国際見本市委員会

〇内容

１．【超軽量化技術領域】　（１３：０５～１４：１５）
・「自動車軽量化における鉄鋼材料の果たす役割」
新日鐵住金株式会社　技術開発本部　主幹研究員　佐藤　浩一氏
・「ＣＦＲＰ適用による自動車軽量化と金属材料とのレーザ溶着技術開発」
前田工業株式会社　レーザ事業部長　三瓶　和久氏

２．【電池技術領域】　（１４：１５～１４：５５）
・「次世代セラミックス電池技術の展望」
産業技術総合研究所　先進製造プロセス研究部門　研究グループ長　藤代　芳伸氏
・「ナノカーボン技術を活用した次世代電池材料の研究開発」
株式会社名城ナノカーボン　社長　橋本　剛氏
～休憩＆ネットワーキング～　（１４：５５～１５：０５）

３．【モータ技術領域】　（１５：０５～１６：１５）
・「レアアースレスモータの制御のためのソフトウェア実装技術の開発」
株式会社サニー技研　技術統括　中村　俊夫氏
・「レアアースレス巻線界磁形フラックススイッチングモータの開発」
名古屋工業大学大学院工学研究科　准教授　小坂　卓氏

４.「ナショナルコンポジットセンターの取り組みについて」（１６：１５～１６：３０）

名古屋大学大学院工学研究科附属複合材工学研究センター

ナショナルコンポジットセンター　特任准教授　今井　清人氏

〇参加申込み

セミナー聴講については、以下の TECH Biz EXPO 2012 の WEB サイトの聴講受付 URL からお申し込み下さい。

また、TECH Biz EXPO 2012 会場（ポートメッセ）への入場には「**来場事前登録**」が必要となりますので、以下「TECH Biz EXPO2012」来場事前登録 URL から、事前登録の上、発行（メール返信）された「**来場登録証**」を当日ご持参いただき、会場内（ポートメッセ）の「登録受付」へご提示くださいますようお願い申し上げます。

＜セミナー聴講受付 URL＞

http://www.techbizexpo.com/event/index1129.html#no8

＜「TECH Biz EXPO 2012」来場事前登録 URL＞

https://techb564.securesites.net/regist/index.html

〇本件に関するお問合せ先

公益財団法人名古屋産業科学研究所　中部 TLO

TEL:052-783-1255　E-MAIL:jisedai@nisri.jp

次世代自動車地域産学官フォーラム技術開発セミナー
「ITと融合した次世代自動車産業の創出に向けて
－組込みシステムソフト開発の最前線－」（案）

・(財)名古屋産業科学研究所では、次世代自動車地域産学官フォーラム事業の一環として、次世代自動車に関連する各種分野の技術開発セミナーを開催しております。（経済産業省中部経済産業局補助事業）
現在、組込みシステムの重要性は大企業、中小企業を問わず・・・・・・・・・・・・
・今回は「＊＊＊＊技術」をテーマに講演、施策説明及び事例紹介のセミナーを実施します。
・次世代自動車等における「＊＊＊＊組込みシステム技術」を考える機会としてご活用頂けるよう、ご関心ある皆様の多数のご参加をお待ちしております。

●日時: 平成25年2月13日（水）　13時30分～17時
●場所:SMBCパーク栄2階　会議室（名古屋市中区錦3-25-20）
●定員:80名（**参加費無料。**先着申込順で受付、定員到達次第締め切らせて頂きます）
●主催:公益財団法人名古屋産業科学研究所
●共催:中部地域組込みシステム連絡会（予定）
　　車載組込みシステムフォーラム（打診中）

●次第　（司会:名古屋産業科学研究所　次世代自動車コーディネーター　浅野　真弘氏）

［挨拶］
　13:30-13:40　経済産業省中部経済産業局　情報政策課長　　杉山　益美氏

1. 講演
　講演1
　13:40-14:30　「ロボットと共に暮らす社会を作る」
　　トヨタ自動車株式会社　パートナーロボット部　部長　玉置　章文氏
　講演2
　14:30-15:10　「平成25年度サポイン事業の組込みソフトウェアに係る技術指針改定について
　　独立行政法人情報処理推進機構（IPA）
　　ソフトウェア・エンジニアリング・センター主査　田丸　喜一郎氏

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　休憩（15:10-15:30）　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

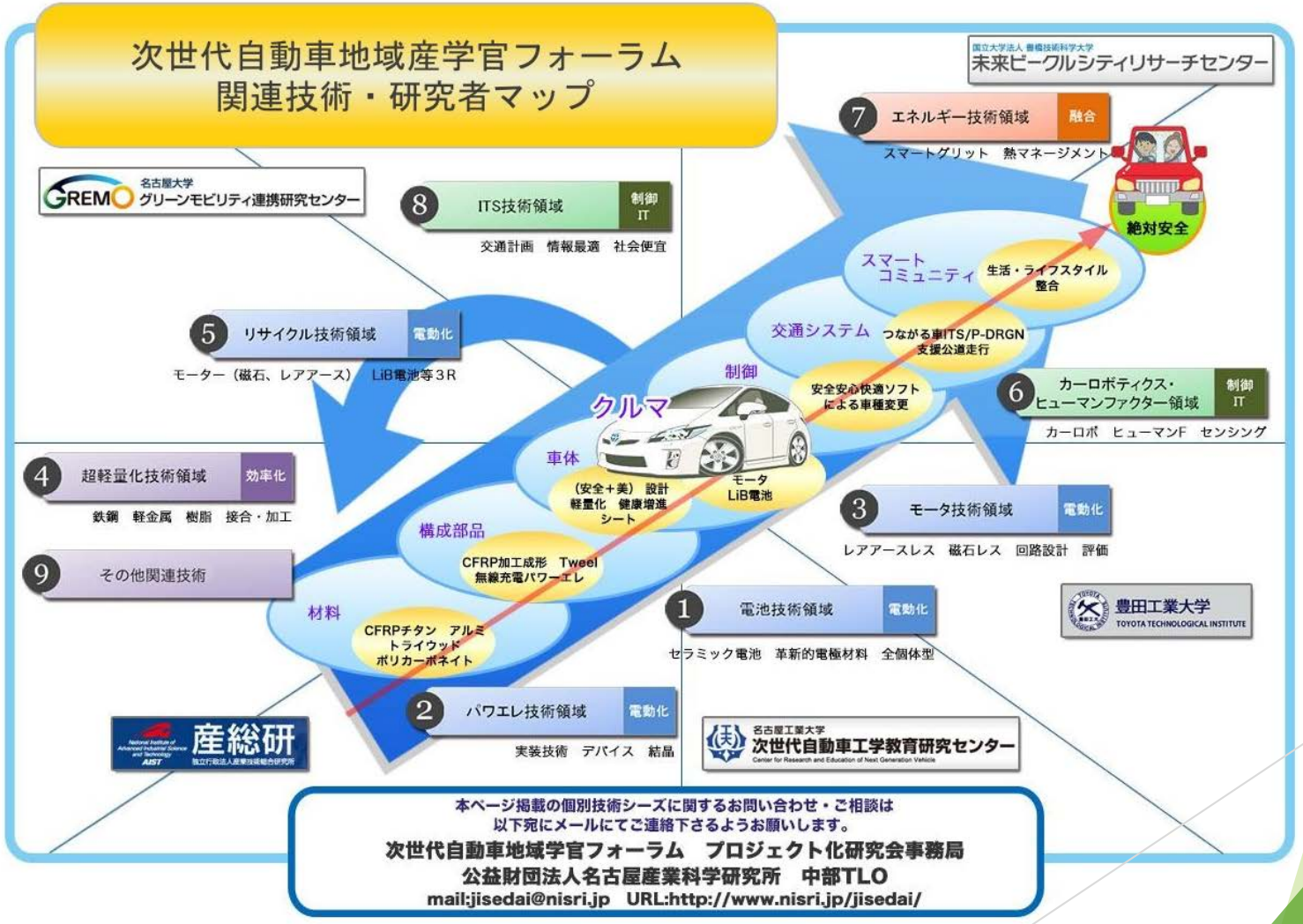
2. 話題提供
　施策説明
　15:30-15:50　戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）等について
　　中部経済産業局　製造産業課

　サポイン事業活用の事例紹介
　15:50-16:15　事例①:「車載用ソフトウェア開発と機能安全」
　　株式会社ヴィッツ　常務取締役　服部　博行氏
　16:15-16:40　事例②:「車載ソフトウェア開発を支援する小型多機能ツールの開発」
　　株式会社サニー技研　技術統括　中村　俊夫氏

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　ネットワーキング（16:40-17:00）　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

以上

平成23年度


次世代自動車地域産学官フォーラム
関連技術・研究者マップ
国立大学法人 豊橋技術科学大学
未来ビークルシティリサーチセンター
7 エネルギー技術領域 融合
スマートグリット 熱マネージメント
名古屋大学
GREMO グリーンモビリティ連携研究センター
8 ITS技術領域 制御 IT
交通計画 情報最適 社会便宜
絶対安全
スマート コミュニティ
生活・ライフスタイル 整合
交通システム
つながる車ITS/P-DRGN 支援公道走行
5 リサイクル技術領域 電動化
モーター（磁石、レアアース） LiB電池等3R
制御
安全安心快適ソフト による車種変更
クルマ
6 カーロボティクス・ ヒューマンファクター領域 制御 IT
カーロボ ヒューマンF センシング
車体
（安全＋美） 設計 軽量化 健康増進 シート
モータ LiB電池
4 超軽量化技術領域 効率化
鉄鋼 軽金属 樹脂 接合・加工
3 モータ技術領域 電動化
レアアースレス 磁石レス 回路設計 評価
構成部品
CFRP加工成形 Tweel 無線充電パワーエレ
9 その他関連技術
材料
CFRPチタン アルミ トライウッド ポリカーボネイト
1 電池技術領域 電動化
セラミック電池 革新的電極材料 全個体型
豊田工業大学
TOYOTA TECHNOLOGICAL INSTITUTE
2 パワエレ技術領域 電動化
実装技術 デバイス 結晶
産総研
名古屋工業大学
次世代自動車工学教育研究センター
本ページ掲載の個別技術シーズに関するお問い合わせ・ご相談は
以下宛にメールにてご連絡下さるようお願いします。
次世代自動車地域学官フォーラム プロジェクト化研究会事務局
公益財団法人名古屋産業科学研究所 中部TLO
mail:jisedai@nisri.jp URL:http://www.nisri.jp/jisedai/

次世代自動車クラスター形成に向けた
「GV（グリーンビークル）戦略マップ・ロードマップ」
～次世代自動車地域産学官フォーラム・技術開発セミナー～

東日本大震災で被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げるとともに、
一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

趣旨：

電気自動車・プラグインハイブリッド車が国内外で相次いで市場導入またはリース販売され、従来の内燃機関自動車に替わる低炭素社会実現に向けた次世代自動車の研究開発に拍車がかかっている。しかし、次世代自動車技術・産業を確固たるものにするには革新的シーズ技術と限界を越えるブレークスルー技術の創出が不可欠であり、将来を見据えた研究開発が極めて重要である。

中部地域の大学等の研究者を中心とする「グリーンビークル戦略マップ・ロードマップ研究会（座長：名古屋大学　石川教授、齋藤教授）」では、人と地球環境に調和したグリーンビークルを未来自動車像として描き、材料技術を中心にゴールとそれに到達するための研究開発の道筋を戦略マップ・ロードマップとして取りまとめた。本マップは、電池、パワーエレクトロニクス、モータ、超軽量化材料・技術、リサイクル技術、センサー技術について2030年までの戦略マップ・ロードマップを提示した。産業界が事業の将来構想を描く際に未来図として活用でき、かつ中部地域オリジナル研究開発を明示することにより地域連携を促進することに資するよう努めた。

当研究会の活動は、昨年10月に発足した「次世代自動車地域産学官フォーラム」における次世代自動車クラスターの形成を目指す活動の一翼を担うものであり、活動成果を広く産業界の方々へ発信する機会として、本セミナーを開催するもの。

本セミナーでは、1）全体像及び電池、パワーエレクトロニクス、モータ、超軽量化材料・技術、リサイクル技術、センサー技術の6領域に関する戦略マップ・ロードマップの紹介、2）パネル展示による参加者・策定者との意見交換、3）産業界コメンテータを交えた総合討論を行い、グリーンビークル将来ビジョン及び次世代自動車開発に関する産学官の相互交流を図る。

今後、産業界との意見交換を継続的に進め、産学官が共有できるビジョンにバージョンアップを図り、各領域で議論された研究会ビジョンの具現化に向け、地域全体の産学官で連携し活動を進めたいと考えていますので、産業界はじめ多数の参加をお願い申し上げます。

日時：平成23年7月11日（月）13:30 - 17:05

場所：名古屋大学　野依記念学術交流館2Fカンファレンスホール（名古屋市千種区不老町）
（ http://www.nagoya-u.ac.jp/global-info/access-map/higashiyama/ ）

主催：グリーンビークル戦略マップ・ロードマップ研究会
名古屋大学大学院工学研究科材料バックキャストテクノロジー研究センター
名古屋大学エコトピア科学研究所
名古屋大学グリーンモビリティ連携研究センター
（財）名古屋産業科学研究所

後援：経済産業省中部経済産業局（依頼中）

定員：250名（予定）

参加費（講演のみ）：　無料

「GV（グリーンビークル）戦略マップ・ロードマップ」
～次世代自動車地域産学官フォーラム・技術開発セミナー～

●セミナー次第

＜司会：名古屋大学　鷺山　勝氏＞

1．開会挨拶（13:30-13:35）
　座長　名古屋大学大学院工学研究科材料バックキャストテクノロジー研究センター　兼任教授　石川孝司氏
2．主催者・来賓挨拶（13:35-13:45）
　名古屋大学理事・副総長・グリーンモビリティ連携研究センター長　宮田隆司氏
　経済産業省中部経済産業局地域経済部長　岡田　武氏
3．講演(13:45-15:30)

＜司会：豊橋技術科学大学　福本昌宏氏＞

13:45-14:00　グリーンビークル戦略マップ・ロードマップ概要　－全体像－
座長　名古屋大学大学院工学研究科材料バックキャストテクノロジー研究センター
兼任教授　石川孝司氏

14:00-14:15　グリーンビークル戦略マップ・ロードマップ　－電池領域－
幹事　三重大学大学院工学研究科准教授　今西誠之氏

14:15-14:30 グリーンビークル戦略マップ・ロードマップ　－超軽量化材料・技術領域－
幹事　名古屋大学大学院工学研究科材料バックキャストテクノロジー研究センター
兼任教授　金武直幸氏

＜司会：産業技術総合研究所　村山宣光氏＞

14:30-14:45　グリーンビークル戦略マップ・ロードマップ　－モータ領域－
幹事　名古屋工業大学大学院工学研究科准教授　小坂　卓氏

14:45-15:00　グリーンビークル戦略マップ・ロードマップ　－パワーエレクトロニクス領域－
幹事　名古屋大学大学院工学研究科材料バックキャストテクノロジー研究センター
兼任教授　宇治原　徹氏

15:00-15:15　グリーンビークル戦略マップ・ロードマップ　－リサイクル領域－
幹事　名古屋大学エコトピア科学研究所環境システムリサイクル部門副部門長
教授　市野良一氏

15:15-15:30　グリーンビークル戦略マップ・ロードマップ　－センサー領域－
幹事　名古屋大学大学院工学研究科准教授　渡慶次　学氏

4．パネル展示及び意見交換(15:30-16:00)
5．総合討論（16:00-17:00）

＜司会：名古屋大学　齊藤永宏氏＞

・全講演者
・産業界コメンテータ
（自動車）　トヨタ自動車（株）材料技術統括部企画総括室主査　鵜飼順三氏
　　三菱自動車工業（株）開発本部EV・パワートレインシステム技術部部長付　吉田裕明氏
（電池）　（株）GSユアサ　リチウムイオン電池事業部企画本部部長　中満和弘氏
（電池材料）三菱化学（株）電池機材事業部研究開発グループマネージャ　中島孝之氏
（パワーエレクトロニクス・センサー）
　　（株）デンソー研究開発1部パワエレシス開発室長　藤綱雅巳氏
（モータ）　（株）豊田中央研究所HVモータ研究室長　中井英雄氏

6．閉会挨拶（17:00-17:05）　座長　名古屋大学エコトピア科学研究所ナノマテリアル科学研究部門長
教授　齋藤永宏氏

●交流会（17:15-18:30）　豊田講堂1階ホワイエ（有料）

■次世代自動車地域産学官フォーラム 技術開発セミナー
次世代自動車クラスター形成に向けた
「GV(グリーンビークル)戦略マップ・ロードマップ」を開催いたしました。
(2011年7月11日(月))

■次世代自動車地域産学官フォーラム 技術開発セミナー＆ラボツアー(1)
「革新的セラミック電池材料の研究開発」を開催いたしました。
(2011年10月5日)

■次世代自動車地域産学官フォーラム 技術開発セミナー＆ラボツアー(2)
「カーロボティクス・ヒューマンファクター研究の最前線」を開催いたしました。(2011年10月11日)

■次世代自動車地域産学官フォーラム・技術開発セミナー＆ラボツアー(3)
「動力系(モータ・パワーエレクトロニクス)技術の研究開発・技術紹介」を開催いたしました。(2011年11月14日)

■次世代自動車地域産学官フォーラム・名古屋大学グリーンモビリティ連携研究センター　合同セミナー・シンポジウム＆ラボツアー
「車両軽量化技術特集」を開催いたしました。(2012年3月12日)

次世代自動車産学官フォーラム　技術開発セミナー＆ラボツアー(1)
「革新的セラミック電池材料の研究開発」

●「次世代蓄電池用電解質の研究開発」
　産業技術総合研究所　先進材料研究部門
　研究員　濱本 孝一 氏

●「空気二次電池等革新電池技術の開発」
　三重大学大学院　工学研究科
　准教授　今西 誠之 氏

●「Liイオン電池の研究開発－正極活物質材料の開発と解析－」
　株式会社豊田中央研究所　右京特別研究室
　主席研究員　竹内 要二 氏

●平成23年度　戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)等について
　中部経済産業局　製造産業課　中井 基之 氏

ラボツアー
1. 電池研究施設見学(研究本館B棟)
2. セラミックス部材試作プロセス施設見学(連携リサーチセンター)
3. 有機無機ハイブリッド部材製造施設見学(研究本館C棟)

次世代自動車産学官フォーラム　技術開発セミナー＆ラボツアー（2）
「カーロボティクス・ヒューマンファクター研究の最前線」

●「運転行動モデル～その考え方と可能性～」
　名古屋大学大学院　工学研究科　機会理工学専攻
　教授　鈴木 達也 氏

●「ドライバ状態推定技術についての研究動向」
　名古屋大学エコトピア科学研究所　融合プロジェクト研究部門
　教授　大日方 五郎 氏

●「自律型自動運転自動車の開発」
　金沢大学　理工研究域　機械工学系
　講師　菅沼 直樹 氏

●平成23年度　戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)等について
　中部経済産業局　製造産業課　中井 基之 氏

ラボツアー
1. ドライブシミュレーター研究施設(MG棟)等見学
2. ドライブシミュレーター研究施設(工学部2号館)及び関連研究施設等見学

次世代自動車産学官フォーラム　技術開発セミナー＆ラボツアー(3)
「動力系(モータ・パワーエレクトロニクス)技術の研究開発・技術紹介」

●「レアアースレスモータの可能性」
　名古屋工業大学大学院　工学研究科　　准教授　小坂 卓 氏

●「パワーエレクトロニクス関連材料の研究動向」
　研究会(パワーエレクトロニクス技術領域)　座長
　名古屋大学大学院　工学研究科　　教授　宇治原 徹 氏

●「モータの構造・必要な加工技術」
　YMT　ソリューション
　モータ技術コンサルタント　安原 隆 氏

●平成23年度　戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)等について
中部経済産業局　製造産業課　中井 基之 氏

ラボツアー
1. モータ性能評価用テストベンチ(16号館)見学
2. 電動機装置研究施設(6号館)見学
3. ラップアップ＆ネットワーキング(6号館)

次世代自動車産学官フォーラム・名古屋大学グリーンモビリティ連携研究センター
合同セミナー・シンポジウム＆ラボツアー
「車両軽量化技術特集」

講演

第1部【現状からみた展望】
次世代自動車技術開発セミナー「車両軽量化技術の事例と展望」

●「車両開発の見地からみたクルマづくりと軽量化」
　公益財団法人　自動車技術会　技術中核人材育成委員会　副委員長
　神奈川工科大学　自動車システム開発工学科　非常勤講師
　元日産自動車(株)　スカイラインGT-R開発責任者
　渡邉 衡三 氏

●「車両軽量化技術分野における中小部品・加工メーカーの技術開発の方向性提案」
　社団法人中部産業連盟
　コンサルタント　橋本 豊 氏
　プロダクトマネージャー　野村 佳伸 氏

第2部【未来】
第2回次世代自動車公開シンポジウム「超軽量化技術の深化をめざして」

●「自動車におけるCFRP技術の現状と展望」
トヨタ自動車(株)　有機材料技術部　主幹　　影山 裕史 氏

●「自動車軽量化に貢献する高張力鋼板と加工技術、溶接技術の展望」
JEFスチール(株)　スチール研究所　研究技監　　吉武 明英 氏

●「軽量化に貢献するアルミニウムの接合技術」
住友軽金属工業(株)　研究開発センター　部長　　熊谷 正樹 氏

●「マグネシウム合金板材の室温成形性改善を目指した技術開発」
(独)産業技術総合研究所　サステナブルマテリアル研究部門　グループ長
千野 靖正 氏

関連研究施設のラボツアー
●軽量化等の研究施設 (グリーンビークル材料研究開発拠点)見学
1. 塑性加工研究室 (ES館1階)
2. 3次元CAD施設 (以下すべて、グリーンビークル材料研究開発拠点)>
3. 評価施設 (3次元SEM、3次元測定機等)
4. 実験施設 (強加工実験装置等)

フェーズ２研究会（応用段階、５領域）

領域（案）	領域幹事（案）	中部オリジナル	ブレークスルー	コメント	対応案
① 電池	今西（三重大） →斉藤（名大） 藤代（産総研）	新型電池	V材、B材正極	20年以上先 産総研なら	→再検討 学会活動？
② パワエレ	宇治原（名大） 加藤（名工大） 平尾（産総研）	一体化 加工	SiC、GaN ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞ、Si3N4	実装技術なら	→
③ モータ	小坂（名工大） ＆道木（名大） 尾崎（産総研）	減速機 IPMSM 軸受	成形加工	～2020年	→
④ 軽量化	石川（名大） 名工大 豊橋技科大	航空機 加工技術	鋼管、アルミ、マグネ、接合	企業よりの課題提案を核に	→
⑤ リサイクル	市野 →藤澤（名大） 豊橋技科大 名工大	レアメタル	高純度回収、ベース金属回収、異材分離、シュレッダー	～2020年 プロジェクト化	→再検討 フェーズ１？

フェーズ１研究会（新規開始、３領域等）

領域（案）	領域幹事（案）	ねらい	対応案
⑥ センサー	渡慶次 （名大）	中部独自： 生体、非侵襲 ﾌﾞﾚｰｸｽﾙｰ： ｲﾝﾌﾟﾗﾝﾄｾﾝｻｰ	→再検討 ⑥Ａと統合？
⑥A　カーロボ＆ ヒューマンＦ	大日方、鈴木 （名大） 豊田工大	車／人インター フェース	→見える化 ⑥と統合？
⑦ エネルギー	北川（名大） 三重大 名工大	エネルギー循環	→見える化
⑧ ITS	山本（名大） 岐阜大 名工大	交通モデル	→見える化 実証実験と連携？
⑨　その他あれば			

平成22年度

次世代自動車地域産学官フォーラムの発足

次世代自動車地域産学官フォーラムとは

・本フォーラムは「世界最強の次世代自動車クラスター形成のための3戦略を地域一丸となって推進するための場」

・フォーラムの下で、3戦略分野ごとに、企業、大学等産学官関係者の交流と協業などの多様な活動を支援

1. 開発・生産力の強化	・次世代自動車コーディネーターによる産学マッチングと研究開発プロジェクト化 ・次世代自動車技術動向セミナー(年度内に4回程度開催予定) ・電動化・IT化対応人材育成(まずは「ハイブリッド車分解講座」を開講)
2. 新ビジネス創出	・新ビジネス創出に向けた研究会(カーデザイン、ITS分野等を対象とした事例研究)
3. 社会実証の推進	・都市交通デザインの検討 ・社会実証のフィードバック(豊田市次世代エネルギー・社会システム実証事業との連携等) ・「次世代モビリティ国際フォーラム・中部2011」の開催　など

・活動の実効性確保のための2つの仕掛け

①推進会議(フォーラムの推進母体(詳細は次ページ))

②フォーラム・パートナーズ(参加メンバー)

次世代自動車地域産学官フォーラム・パートナーズ

自動車メーカー	部品・部材メーカー	大学	自治体
新規参入ベンチャー企業	IT・サービス企業	研究機関	公設研・産業支援機関

情報共有

次世代自動車地域産学官フォーラム キックオフセミナー

今後の自動車産業をリードしていく鍵は
次世代自動車の開発にあると言われます。
クルマの電動化・IT化の進展に伴い、次世代自動車を取り巻く
プレーヤーの広がりやビジネスモデルの多様化といった
競争環境の変化が予想されます。
こうした環境変化に対応し、地域の産学官が情報共有・人的交流を推進
する場として「次世代自動車地域産学官フォーラム」を発足いたしました。
本フォーラム発足にあたり、「キックオフセミナー」を開催いたしますので、
皆様のご参加をお待ちしております。

2010 10/6 水 15:15〜17:30（14:30受付開始）

メルパルク名古屋 名古屋市東区葵〈JR、地下鉄「千種」駅前〉

PROGRAM

■ 講演会 会場：3階「カトレア」（参加無料　先着200名）

講演〈1〉「次世代自動車地域産学官フォーラムの発足について」

講師　国立大学法人　名古屋大学副総長　理事　宮田 隆司 氏

講演〈2〉「次世代自動車の普及に向けた取組み」

講師　トヨタ自動車株式会社　技術統括部部長　杉浦 繁貴 氏

講演〈3〉「電気自動車の開発と普及に向けて」

講師　株式会社ゼロスポーツ　代表取締役社長　中島 徳至 氏

本事業は中部経済産業局より、「平成22年度地域新成長産業創出促進委託事業（次世代自動車分野における産学官連携調査事業）」として、(財)名古屋産業科学研究所が受託しています。

主催／ 経済産業省 中部経済産業局

■ 申込方法　FAX.052-788-6012
URL：http://www.nisri.jp/jisedai/index.html
■ 申込締切　9月28日（火）
■ 問い合わせ先
(財)名古屋産業科学研究所 中部TLO
TEL.052-783-3580（根津、小澤）
e-mail：jisedai@nisri.jp

キックオフセミナー　参加申込書

※受講証は発行しません。
※当日会場に直接お越しください。定員に達し受講いただけない場合のみご連絡いたします。

会社名		住所	〒		
業種	□ 製造業　□ 情報関連　□ サービス業　□ その他（　　）		□ 官公庁　□ 大学・研究機関　□ その他（　　）		
電話番号		FAX番号		Eメール	
所属部課名		役職名		氏名	

ご記入いただいた個人情報は、今回のセミナーに関する事務処理以外には利用いたしません。また、承諾なく第三者に提供することはありません。

次世代自動車地域産学官フォーラム技術開発セミナー

「自動車向けリチウムイオン電池の技術動向」

日　時　：　平成 22 年 12 月 16（木）14：00〜17：30（13：30 受付開始）
場　所　：　名古屋大学　IB 電子情報館２F 大講義室
（名古屋市千種区不老町、地下鉄「名古屋大学」3 番出口すぐ）
次　第　：

（14:00〜）
主催者挨拶
中部経済産業局地域経済部　部長　岡田　武　氏

●講演
（14:10〜15：10）
１．「自動車向けリチウムイオン電池の開発動向」
講師　㈱豊田中央研究所　右京特別研究室　室長
シニアフェロー　右京　良雄　氏

――――――　休憩　――――――

（15:20〜16：20）
２．「Li-ion 電池用正極材料の動向」
講師:戸田工業株式会社　常務執行役員　荻須　謙二　氏

●最近のトピックス紹介
（16:20〜16：50）
「エアロゾルデポジション（AD）法による全固体 Li イオン電池の作製」
講師（独）産業技術総合研究所　先進製造プロセス研究部門
上席研究員　明渡　純　氏

●ネットワーキングタイム　：　講師の先生方との情報交換等
（16:50〜17：30）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

□会場内展示　：　ハイブリッド車用電池部材等を会場にて展示
（16:50〜17：30）　　（展示協力：リーディング産業展みえ 2010 実行委員会）

【本件に関するお問い合わせ先】
中部経済産業局 地域経済部 次世代産業課 次世代自動車室（本多、川村）
TEL:052－951－0570　FAX:052－950－1764
(財)名古屋産業科学研究所 中部TLO（小澤、堀）
TEL:052－783－1255　FAX:052－788－6012

本セミナーは、中部経済産業局が「平成22年度地域新成長産業創出促進委託事業」として、
(財)名古屋産業科学研究所に委託して実施するものです。

中部経済産業局　財団法人名古屋産業科学研究所

次世代自動車地域産学官フォーラム・ビジネスセミナー
「エコカー時代の展望」
～タウンユース EV の新たなビジネス～

次世代自動車地域産学官フォーラムでは、戦略分野として「開発･生産力の強化」「新ビジネス創出」「社会実証の推進」を掲げ、次世代自動車クラスター形成に向けた活動を推進しております。次世代自動車を取り巻くビジネスチャンスの拡大に向けては、製造分野のみならずサービス分野を含めたバリューチェーン全体で新たな付加価値を生み出すことが求められるところであり、自動車関連ビジネスの動向について有識者を招き情報発信することで、地域産業界の新たなチャレンジにつなげるべく、ビジネスセミナーを開催します。

○日　時：平成23年1月31日(月)　14：00～15：30　(13：30受付開始)

○対　象：次世代自動車地域産学官フォーラムパートナーズ参加機関メンバー

次世代自動車地域産学官フォーラムパートナーズでは、参加メンバーによる情報共有・人的交流を推進すべく、各種情報提供を行っています。（※参加無料）

※ パートナーズ参加に係るご案内など、詳しくは

http://www.chubu.meti.go.jp/jisedai_jidoushiya/pdf/partners.pdf　をご覧下さい。

○定　員：70名　(※先着申込順、参加無料)

○講演概要：

「エコカー時代の展望　～タウンユースＥＶの新たなビジネス～」

電気自動車を中心とする「エコカー」の時代の幕開けが自動車関連ビジネスに大きな変化をもたらすと考えられる中、どういったビジネスが新たに生まれてくるのか、講師が愛知県と東京都とで展開している「エコカービジネス研究会」から生み出されるビジネスを紹介。

講師　株式会社シナジック　代表取締役
株式会社東海夢ファンド 代表取締役　　杉本祥郎氏

1973 年　トヨタ自動車株式会社 入社
1996 年　有限会社社会システム研究所設立（現在の株式会社シナジック）
　　トヨタ籍のまま起業
1998 年　トヨタ自動車株式会社退職
2006 年　株式会社東海夢ファンド設立

○場　所：ＳＭＢＣパーク栄2階
(愛知県名古屋市中区錦 3-25-20)
名古屋市営地下鉄東山線、名城線「栄」駅
<9 番出口すぐ>

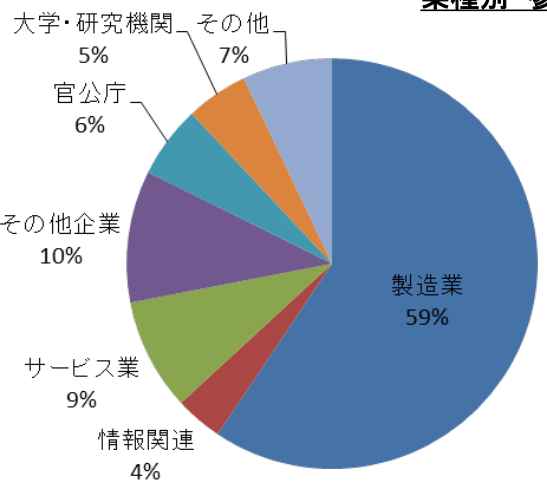
○参加申込方法：
参加申込書(裏面)にご記入の上、下記あて先まで E-mail 又は FAX にてお申し込みください。
＜申込先＞
(財)名古屋産業科学研究所中部ＴＬＯ
(次世代自動車地域産学官フォーラム事務局)
E-mail：jisedai@nisri.jp　FAX：052－788－6012

次世代自動車産業地域産学官フォーラム　パートナーズ

○次世代自動車産業地域産学官フォーラムの活動趣旨に賛同する企業や自治体、大学等に対して、フォーラム活動を始め、自動車関連の支援施策の情報を発信。

○平成２６年７月末現在、約５１０の企業等がパートナーズとして登録。

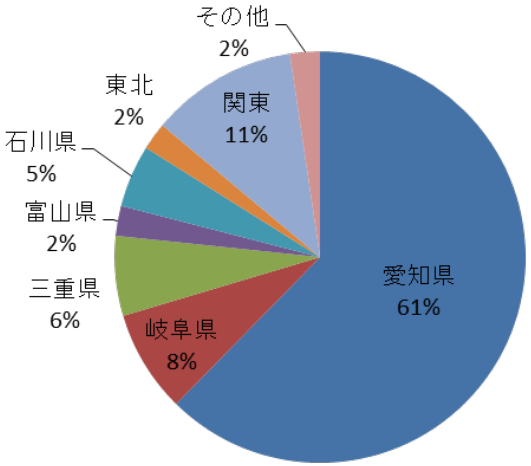
業種別　参加企業割合



単位：社・団体

製造業	304
情報関連	20
サービス業	45
その他企業	53
官公庁	30
大学・研究機関	25
その他	36
合計	513

地域別　参加企業割合



単位：社・団体

愛知県	319
岐阜県	42
三重県	32
富山県	12
石川県	25
東北	11
関東	60
その他	12
合計	513

フォーラム通信　配信イメージ

差出人：　□中部局メールマガジン業務
宛先：　[redacted]
ＣＣ：
件名：　次世代自動車地域産学官フォーラム通信（2014年4月16日発
署名者：　chubu-meti-news@meti.go.jp

■□■□----------
次世代自動車地域産学官フォーラム通信（2014年４月16日発

パートナーズメンバーに関連情報を順次お知らせいたしてお
ご活用下さいますようお願い申し上げます。
なお、パートナーズメンバーの会社名・団体名は、中部経
局次世代自動車地域産学官フォーラムＨＰで公表させていただい
ります。
----------□■□■

＜＜新規掲載情報＞＞
～公募のお知らせ～
□公募情報　：平成 26 年度戦略的基盤技術高度化支援事業の公募について

□公募情報　：ものづくり小規模事業者等人材育成事業の補助対象者の募集について

□■公募のお知らせ■□

■□【公募情報】平成 26 年度戦略的基盤技術高度化支援事業の公募について

中小企業庁では、精密加工、立体造形等の特定ものづくり基盤技術の向上につながる研究開発、その事業化に向けた取組を支援することを目的として、中小企業・小規模事業者が大学・公設試等の研究機関等と連携して行う、製品化につながる可能性の高い研究開発、試作品開発等及び販路開拓への取組を一貫して支援します。

○

自動車関連企業が活用できる補助金やセミナー等の情報をタイムリーに配信！

登録申込は、以下のURLから登録様式をダウンロードし、記入の上、フォーラム通信事務局（chb-jidousha@meti.go.jp）までお送りください。
http://www.chubu.meti.go.jp/jisedai_jidoushiya/forum.html

先ずはご相談から

自薦他薦を問わず、面白そうな技術がございましたら、
お知らせください。

・特許がらみなら　→　中部TLO産学連携支援部

ozawa@nisri.jp　TEL: 052-783-1255

・ものづくりなら　→　次世代自動車ｸﾗｽﾀｰﾏﾈｰｼﾞｬｰ

jisedai@nisri.jp　TEL: 052-783-1255

・ベンチャー関連なら　→　中部ﾃｸﾉﾛｼﾞｰｼｰﾄﾞ

ozawa@ct-seed.com　TEL: 052-783-1255